

久留米市第6期高齢者福祉計画及び  
介護保険事業計画の進捗状況評価

平成29年10月

久留米市

## 目 次

1. 第6期の進捗状況（総括）	1
2. 各施策の目標達成状況	1
3. 第6期の進捗状況（各施策体系ごと）	4
・第1章 健康づくりと介護予防の推進	4
・第2章 高齢者の積極的な社会参加・参画	15
・第3章 高齢者の在宅生活を支える仕組みづくり	24
・第4章 地域連携による高齢者支援	34
・第5章 認知症施策の推進	41
・第6章 高齢者の権利擁護	48
・第7章 生活環境の整備	55
・第8章 介護保険事業の円滑な実施	62
・第9章 介護サービスの見込量と保険料	75

## 1. 第6期の進捗状況(総括)

第6期計画(平成27年度から29年度までの3か年計画)における施策体系ごとの目標達成状況は、下表のとおりである。

具体的施策に掲げる事業において、指標を「達成できたもの」が92項目中47項目(51.1%)、「概ね達成できたもの」が34項目(37.0%)であり、約9割の事業においては、ほぼ計画通り順調に進んでいる状況である。

一方では、具体的施策に掲げる事業の一部において、指標を「達成できなかったもの」も11項目(12.0%)あり、事業を実施する上で工夫や見直しが必要であると考えられ、第7期計画策定において考慮されなければならない。

また、介護保険事業の運営においては、収支バランスなどを注視しながら適正な運営に努めてきた。

第6期は、平成37年(2025年)に向けて、地域包括ケアシステムを構築するための土台作りとなる重要な期間である。計画に掲げている5つの主な取り組み(「在宅医療・介護連携の推進」「認知症施策の推進」「地域ケア会議の推進」「生活支援サービスの体制整備」「介護予防・日常生活支援総合事業」)については、新たに着手するものが多く、実施にあたっての課題も多岐にわたったが、関係機関・団体等との十分な協議・調整を経た上で連携・協働し、概ね計画通り進めることができた。

今後さらに高齢化が進展していく中で、第7期では、各種実態調査や計画の進捗管理において明らかとなった第6期の課題、国が示す「地域共生社会」の理念などを踏まえながら、地域包括ケアシステムの構築へ向けた取り組みを、久留米市の実情に合わせて深化・推進させていくとともに、さまざまな高齢者福祉施策及び介護保険事業に取り組んでいく必要がある。

## 2. 各施策の目標達成状況

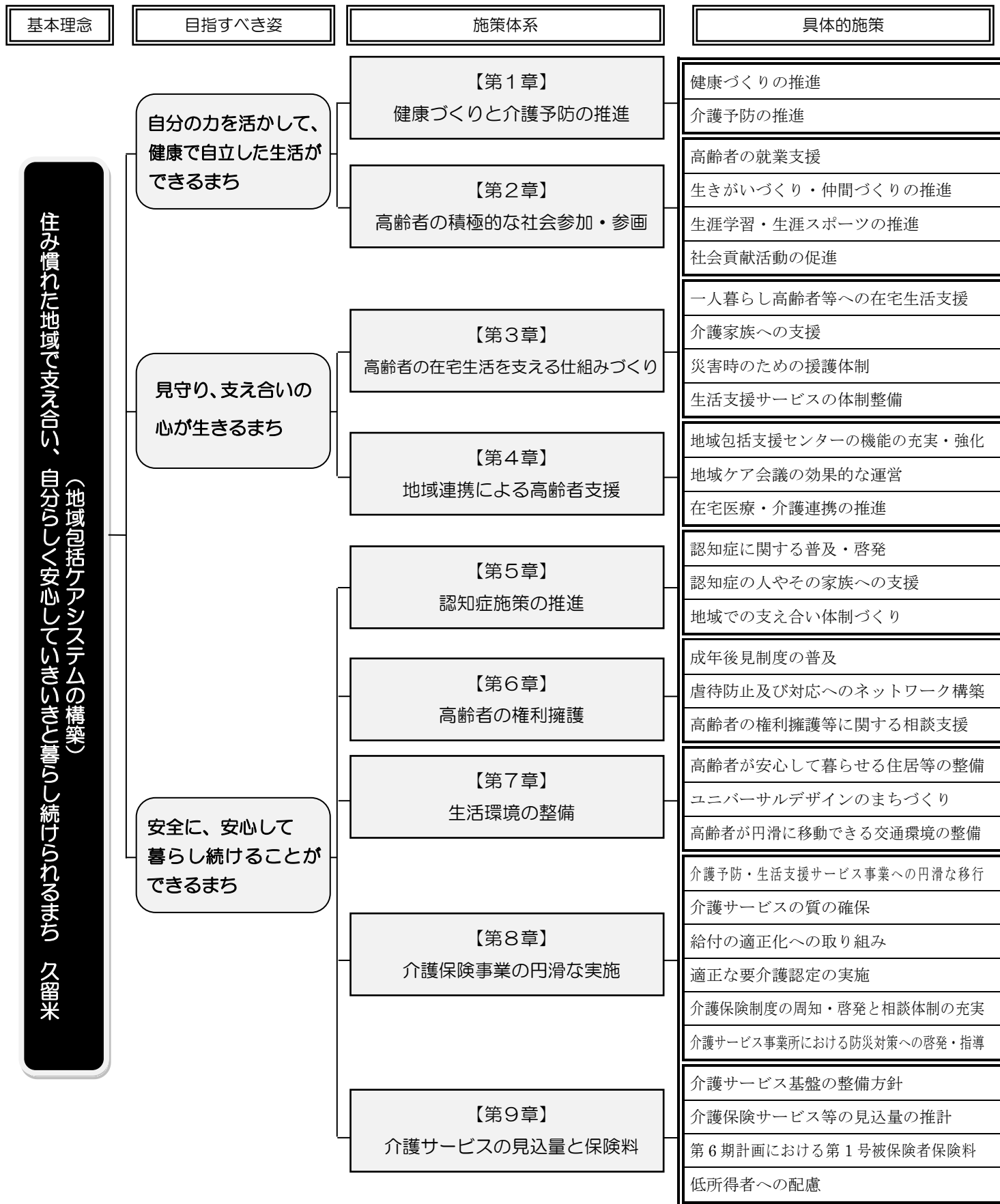
施策体系	A	B	C	合計
【第1章】健康づくりと介護予防の推進	6	4	2	12
【第2章】高齢者の積極的な社会参加・参画	5	7	0	12
【第3章】高齢者の在宅生活を支える仕組みづくり	6	5	3	14
【第4章】地域連携による高齢者支援	5	3	0	8
【第5章】認知症施策の推進	6	2	1	9
【第6章】高齢者の権利擁護	4	4	0	8
【第7章】生活環境の整備	5	3	3	11
【第8章】介護保険事業の円滑な実施	10	6	2	18
【第9章】介護サービスの見込量と保険料	—	—	—	—
合計	47 (51.1%)	34 (37.0%)	11 (12.0%)	92

※A:指標を達成できた B:指標を概ね達成できた C:指標を達成できなかった

※各施策の進捗度を踏まえ、第6期における事業目的・目標の達成度を、次のとおり評価しています。(見込み含む)

A	目標どおり・目標以上の成果があった(100%以上)
B	概ね目標どおりの成果があった(70%以上~100%未満)
C	目標とした成果は得られなかった(70%未満)

久留米市第6期高齢者福祉計画及び介護事業計画 施策体系



### 3. 第6期の進捗状況(各施策体系ごと)

#### 第1章 健康づくりと介護予防の推進

##### 【施策の方向性】

健康寿命を延伸するとともに、要介護状態にならないよう健康づくりと介護予防の推進に取り組む。

##### (1) 健康づくりの推進

健康教育・健康相談		【保健所健康推進課・地域保健課】																												
<b>事業内容</b>	<p>市民の生活習慣病の予防や健康を増進するために、青年期からの健康教育・健康相談を重点的に実施し、健康に関する正しい知識の普及・啓発に努める。</p> <p>【健康教育：健康なるほど講座、お腹まわりスッキリ相談等】 【健康相談：総合健康相談、まちかど栄養・糖尿病予防健康相談等】</p>																													
<b>第6期 実施状況</b>	<p>・健康づくりに関する各種教室・相談を実施した。</p> <p><b>▽H27～28 年度実績</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #fff9c4;"> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">実績</th> </tr> <tr style="background-color: #fff9c4;"> <th>H27 年度</th> <th>H28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">地域の健康教育</td> <td>103 回／4,390 人</td> <td>94 回／3,080 人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">総合健康相談</td> <td>141 回／3,922 人</td> <td>137 回／3,945 人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">お腹まわり スッキリ相談</td> <td>実施率 21.2% (保健指導実施者 21 人 ／対象者 99 人)</td> <td>実施率 10.1% (保健指導実施者 11 人 ／対象者 109 人)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">まちかど栄養・糖尿病 予防健康相談</td> <td>15 回／1,542 人</td> <td>15 回／1,521 人</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>▽H29 年度実施状況</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">地域の健康教育</td> <td>随時実施予定</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">総合健康相談</td> <td>地域の健康教育と共に実施予定</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">お腹まわり スッキリ相談</td> <td>7 月より実施予定</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">まちかど栄養・糖尿病 予防健康相談</td> <td>15 回実施予定</td> </tr> </tbody> </table> <p>・健診普及啓発事業</p> <p><b>▽H27～29 年度実績・実施状況</b></p> <p>地区担当保健師による保育園や幼稚園等への連携の働きかけや、出前講座等の機会を捉えた受診勧奨を行っている。</p>						実績		H27 年度	H28 年度	地域の健康教育	103 回／4,390 人	94 回／3,080 人	総合健康相談	141 回／3,922 人	137 回／3,945 人	お腹まわり スッキリ相談	実施率 21.2% (保健指導実施者 21 人 ／対象者 99 人)	実施率 10.1% (保健指導実施者 11 人 ／対象者 109 人)	まちかど栄養・糖尿病 予防健康相談	15 回／1,542 人	15 回／1,521 人	地域の健康教育	随時実施予定	総合健康相談	地域の健康教育と共に実施予定	お腹まわり スッキリ相談	7 月より実施予定	まちかど栄養・糖尿病 予防健康相談	15 回実施予定
	実績																													
	H27 年度	H28 年度																												
地域の健康教育	103 回／4,390 人	94 回／3,080 人																												
総合健康相談	141 回／3,922 人	137 回／3,945 人																												
お腹まわり スッキリ相談	実施率 21.2% (保健指導実施者 21 人 ／対象者 99 人)	実施率 10.1% (保健指導実施者 11 人 ／対象者 109 人)																												
まちかど栄養・糖尿病 予防健康相談	15 回／1,542 人	15 回／1,521 人																												
地域の健康教育	随時実施予定																													
総合健康相談	地域の健康教育と共に実施予定																													
お腹まわり スッキリ相談	7 月より実施予定																													
まちかど栄養・糖尿病 予防健康相談	15 回実施予定																													
<b>指標 達成状況</b>	<b>指標の内容</b>	<b>単位</b>		<b>H27</b>	<b>H28</b>																									
	健康教育参加者数	人	<b>目標値</b>	5,400	5,400																									
			<b>実績値</b>	4,390	3,080																									
			<b>達成度 (%)</b>	81.3	57.0																									

事業の評価	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教室や相談の実施により、健康づくりに関する正しい知識の普及啓発を図ることができた。</li> <li>市民に身近なところで気軽に健康に関する相談や教育を受けられる体制の強化を行う必要がある。</li> </ul>
-------	---	---

心の健康相談		【保健所保健予防課】		
事業内容	さまざまな心の悩みや不安等を持つ人、またはその家族に対し、精神科医による心の健康相談を実施する。(心の健康に関する相談、医療機関受診に関する相談、社会復帰相談、アルコール、思春期、青年期、認知症の相談等)			
第6期 実施状況	・毎週木曜日に、久留米市保健所において実施した。			
		H27年度	H28年度	H29年度
	実施回数	51回	46回	12回(50回)
	相談件数	108件	89件	24件(150件)
※H29年度は6月末時点。( )内は見込				
指標 達成状況	指標の内容	単位	H27	H28
	相談件数	件	目標値	105
			実績値	108
			達成度(%)	102.9
達成度(%)			102.9	80.9
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の精神的健康の保持、精神疾患の早期発見・早期治療の促進を図るための相談事業を実施することができた。</li> <li>日常の電話相談や来所相談の際に、心の健康相談の利用を勧めるなど、周知に努めることができた。</li> </ul>		

特定健康診査・特定保健指導等		【保健所健康推進課】			
事業内容	生活習慣病予防に有効なメタボリックシンドローム対策を中心とした「特定健康診査」を行い、ハイリスクと思われる人にはその人の状況に応じた「特定保健指導」を行う。				
第6期 実施状況	・40から74歳までの国民健康保険被保険者へ受診券を配布し実施した。				
	対象者	H27年度	H28年度	H29年度	
		53,494人	51,656人	50,833人	
	実績	▽特定健康診査受診率			
		H27年度		H28年度	
		34.2%		34.2%	
受診者 16,672人 ／対象者 48,805人		受診者 16,220人 ／対象者 47,437人			
▽特定保健指導利用率					
H27年度		H28年度			
17.7%		10.4%			
利用者 385人 ／対象者 2,178人		利用者 212人 ／対象者 2,032人			

指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28	
	特定健康診査 受診率		%	目標値	50	55
				実績値	34.2	34.2
				達成度 (%)	68.4	62.2
事業の評価	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査受診の必要性や集団健診（土日・夜間実施）の周知及び受診勧奨の不足により、受診率を伸ばすことができなかった。</li> <li>・セット検診（複数のがん検診を同日・同会場で実施するもの）の実施エリアの拡大等により受診しやすい環境づくりに取り組む必要がある。</li> </ul>				

ウォーキング事業の推進			【保健所健康推進課】		
事業内容	各校区で実施しているウォーキング事業への支援やウォーキングの効果や参加促進のための啓発を行い、市民の自主的な健康づくりを推進する。				
第6期 実施状況	・校区ウォーキング事業に対する補助金交付を行った。				
		交付先	金額		
	H27年度	46校区	2,800千円		
	H28年度	46校区	2,800千円		
	H29年度（予定）	46校区	2,800千円		
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	-	-	目標値	-	-
			実績値	-	-
			達成度 (%)	-	-
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全46校区の実施により、市内全域で高齢者の健康づくりに寄与できた。</li> <li>・市民の自主的な健康づくりのための取り組みとして、ウォーキングのさらなる普及を図るため、校区ウォーキング事業の充実に向けたサポートが必要である。</li> </ul>			



事業内容	ラジオ体操の必要性についての周知やライフステージに応じた啓発、地域における自主的な活動が促進されるための支援を行うことで、ラジオ体操の市民への浸透を図り、健康づくりを推進する。															
第6期 実施状況	<p>▽H27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ体操の集いを年2回開催した。(4月、10月)</li> <li>市ホームページに自主活動団体の活動状況を掲載した。</li> <li>H27年度は以下の新規事業を実施した。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="416 566 1294 813"> <tr> <td>CD・教本配布事業</td> <td>91団体へ配布 CD配布102枚、教本配布1,630冊</td> </tr> <tr> <td>講師派遣事業</td> <td>4団体へ派遣 延べ参加者80人</td> </tr> <tr> <td>指導員養成講習会</td> <td>参加者140人</td> </tr> </table> <p>▽H28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ体操の集いを、年2回開催(4月・10月)した。なお、10月開催は、久留米シティプラザ会場を含む市内2か所で集いを実施。</li> <li>市ホームページに自主活動団体の活動状況を掲載</li> <li>H27年度からの継続事業に加え、H28年度からは新たにのぼり旗を配布した。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="416 1055 1294 1328"> <tr> <td>CD・教本・のぼり旗配布事業</td> <td>35団体へ配布 CD配布32枚、教本配布479冊、のぼり旗24本</td> </tr> <tr> <td>講師派遣事業</td> <td>4団体へ派遣 延べ参加者80人</td> </tr> <tr> <td>指導員養成講習会</td> <td>参加者140人</td> </tr> </table> <p>▽H29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>従来 of 事業に加え、以下の2事業を実施予定。 <ul style="list-style-type: none"> <li>夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催</li> <li>「ラジオ体操DE健康タウン」モデル地域への認定を受け、ラジオ体操講習会を市内2か所で開催。</li> </ul> </li> </ul>				CD・教本配布事業	91団体へ配布 CD配布102枚、教本配布1,630冊	講師派遣事業	4団体へ派遣 延べ参加者80人	指導員養成講習会	参加者140人	CD・教本・のぼり旗配布事業	35団体へ配布 CD配布32枚、教本配布479冊、のぼり旗24本	講師派遣事業	4団体へ派遣 延べ参加者80人	指導員養成講習会	参加者140人
CD・教本配布事業	91団体へ配布 CD配布102枚、教本配布1,630冊															
講師派遣事業	4団体へ派遣 延べ参加者80人															
指導員養成講習会	参加者140人															
CD・教本・のぼり旗配布事業	35団体へ配布 CD配布32枚、教本配布479冊、のぼり旗24本															
講師派遣事業	4団体へ派遣 延べ参加者80人															
指導員養成講習会	参加者140人															
指標 達成状況		H27	H28	H29												
事業進捗目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ体操の効果を周知啓発</li> <li>地域での仕組みづくり、活動団体の支援</li> </ul>			夏期巡回ラジオ体操の誘致												
実績	指標に該当する事業の実施			夏期巡回ラジオ体操開催												
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民がラジオ体操を行いやすい環境の整備に努め、市民の日常におけるラジオ体操の取り組みが広がった。</li> </ul>														

(2) 介護予防の推進

介護予防普及啓発事業		【長寿支援課】																																																					
事業内容	<p>筋力向上や脳の活性化、栄養面などさまざまな視点からの介護予防教室や介護予防パンフレット・チラシなどの配布を通じて、介護予防に対する意識啓発やきっかけづくりを行う。</p> <p>また、地域活動を展開しているふれあい・いきいきサロンや老人クラブなどに対して専門職の派遣などを行い、住民自らが介護予防に主体的に取り組む環境づくりに努める。</p>																																																						
第6期 実施状況	<p>・筋力向上や脳の活性化、栄養面等さまざまな視点からの介護予防教室を実施した。</p> <p>・住民自らの主体的な介護予防の取組みに対し、講師派遣を行った。</p> <p><b>▽H27・28年度実績</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H27年度</th> <th colspan="2">H28年度</th> </tr> <tr> <th>会場 団体</th> <th>参加者</th> <th>会場 団体</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">にこにこステップ運動※</td> <td>教室型</td> <td>3会場</td> <td>80人</td> <td>7会場</td> <td>281人</td> </tr> <tr> <td>講師派遣型</td> <td>5団体</td> <td>80人</td> <td>9団体</td> <td>149人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ドレミ♪で介護予防！！</td> <td>教室型</td> <td>3会場</td> <td>89人</td> <td>3会場</td> <td>89人</td> </tr> <tr> <td>講師派遣型</td> <td>18団体</td> <td>262人</td> <td>45団体</td> <td>713人</td> </tr> <tr> <td>くるめ元気脳教室</td> <td></td> <td>5会場</td> <td>102人</td> <td>5会場</td> <td>99人</td> </tr> <tr> <td>おたっしや出張講座</td> <td></td> <td>107団体</td> <td>2,316人</td> <td>142団体</td> <td>2,996人</td> </tr> <tr> <td>地域で役立つ介護予防講座</td> <td></td> <td>4会場</td> <td>128人</td> <td>4会場</td> <td>79人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H28年度より、にこにこステップ運動&amp;スロージョギングとして実施</p> <p><b>▽H29年度実施予定</b></p> <p>①にこにこステップ運動&amp;スロージョギング  <b>【教室型】</b> 毎週開催 拡充 (H29.9月以降 7会場⇒9会場 (うち3会場で2クラス開催))  <b>【講師派遣型】</b> 「7. 地域介護予防活動支援事業」にて実施。</p> <p>②ドレミ♪で介護予防！！  <b>【教室型】</b> H29.9月以降に開催予定 3会場 (定数 30名/会場：全10回/会場)  <b>【講師派遣型】</b> 「7. 地域介護予防活動支援事業」にて実施。</p> <p>③くるめ元気脳教室  H29.9月以降に開催予定 5会場 (定数 20名/会場、全20回/会場)</p> <p>④おたっしや出張講座  「7. 地域介護予防活動支援事業」にて実施。</p>							H27年度		H28年度		会場 団体	参加者	会場 団体	参加者	にこにこステップ運動※	教室型	3会場	80人	7会場	281人	講師派遣型	5団体	80人	9団体	149人	ドレミ♪で介護予防！！	教室型	3会場	89人	3会場	89人	講師派遣型	18団体	262人	45団体	713人	くるめ元気脳教室		5会場	102人	5会場	99人	おたっしや出張講座		107団体	2,316人	142団体	2,996人	地域で役立つ介護予防講座		4会場	128人	4会場	79人
		H27年度		H28年度																																																			
		会場 団体	参加者	会場 団体	参加者																																																		
にこにこステップ運動※	教室型	3会場	80人	7会場	281人																																																		
	講師派遣型	5団体	80人	9団体	149人																																																		
ドレミ♪で介護予防！！	教室型	3会場	89人	3会場	89人																																																		
	講師派遣型	18団体	262人	45団体	713人																																																		
くるめ元気脳教室		5会場	102人	5会場	99人																																																		
おたっしや出張講座		107団体	2,316人	142団体	2,996人																																																		
地域で役立つ介護予防講座		4会場	128人	4会場	79人																																																		
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28																																																		
	事業参加者数	人	目標値	3,000	3,200																																																		
			実績値	3,057	4,406																																																		
			達成度 (%)	101.9	137.7																																																		

事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を拡充したことで多くの高齢者が参加し、介護予防の取り組みが広がった。</li> <li>・地域での介護予防の取り組み支援の拡充が図られ、参加者数が目標を大幅に上回った。</li> </ul>
-------	---	---

**地域介護予防活動支援事業** 【長寿支援課】

事業内容	介護施設においてのボランティア活動を通じて、高齢者が地域に貢献することを積極的に支援するとともに、社会参加・生きがいのための活動の場を創出することで、自身の介護予防につなげる。
------	--

第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護施設においてボランティア活動を行った高齢者に対し、活動に応じたポイントを付与することで、活動への取り組みを促進した。</li> <li>・ボランティア登録者及びボランティア受入機関の増加を目的として説明会を実施した。</li> </ul> <p><b>▽H27年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者数：209名（活動割合は約3割）、登録事業者数：98事業所</li> <li>・市民向け説明会：6回                      ・ボランティア向け交流会：1回</li> <li>・事業所向け説明会：1回</li> <li>・ポイント交換者数：51名（195千円）</li> </ul> <p><b>▽H28年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者数：244名（活動割合は約3割）、登録事業者数：117事業所</li> <li>・市民向け説明会：6回                      ・ボランティア向け交流会：1回</li> <li>・事業所向け説明会：1回                      ・よかボラ通信の発行：4回</li> <li>・ポイント交換者数：51名（183千円）</li> </ul> <p><b>▽H29年度</b></p> <p>①よかよか介護ボランティア事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者数：252名、登録事業者数：123事業所（H29.6.30現在）</li> <li>・市民向け説明会：6回 ※予定 H29.8月頃（3回）、H30.2月頃（3回）</li> <li>・ボランティア向け交流会：1回 ※予定 H30.3月頃</li> <li>・受入機関向け説明会：1回 ※予定 H30.2月頃</li> <li>・よかボラ通信の発行（年4回程度）</li> </ul> <p>②おたっしや出張講座 地域団体等への講師派遣 年間180回（実績：47団体 H29.6.30時点）</p> <p>③ドレミで介護予防【講師派遣型】 地域団体等への講師派遣 年間120回</p> <p>④ここにこステップ&amp;スロージョギング【講師派遣型】 地域団体等への講師派遣</p> <p>⑤介護予防サポーター養成講座 11日常生活圏域での講座開催（各2日） H29.6～7月に9回開催</p>
-------------	---

指標 達成状況	指標の内容	単位	H27	H28	
	よかよか介護ボランティア登録者数	人	目標値	200	250
			実績値	209	244
			達成度（%）	104.5	97.6

事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの高齢者がボランティアに登録し、自身の介護予防につなげることができた。</li> <li>・登録者の活動事例等を広報し、未登録者や活動未実施者へ働きかけを行うことで、事業の周知啓発が進んだ。</li> </ul>
-------	---	--

**介護予防把握事業** **【長寿支援課】**

事業内容	<p>「基本チェックリスト」(みつめてほシート)等により、生活機能が低下しているおそれの高い高齢者や閉じこもり等の何らかの支援が必要な人を把握し、介護予防事業等の必要な支援につなげる。</p>
------	--

第6期 実施状況	▽H27年度			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護認定を受けていない70歳以上の高齢者へ基本チェックリスト(みつめてほシート)を送付し、回答者に対し結果アドバイスシートを送付した。</li> <li>・判定結果から、二次予防事業(通所型)への参加を促した。</li> </ul>			
	基本チェックリスト送付者数	39,133人		
	回答者数	22,346人		
	うち二次予防事業の対象者数	7,793人		
	うち二次予防事業(通所型)参加者数	355人		
▽H28年度				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本チェックリスト(みつめてほシート)の70歳以上高齢者への送付は、平成27年度で終了し、二次予防事業の参加アンケートは、平成27年度に実施した基本チェックリストの結果をもとに送付した。</li> <li>・二次予防(通所型)参加者数：344人</li> </ul>				
▽H29年度				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度4月の介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、事業対象者の把握は、介護保健課によって本庁者や総合支所窓口等で基本チェックリストを用いて実施されている。</li> </ul>				

	指標の内容	単位		H27	H28
指標 達成状況	基本チェックリスト 返信率	%	目標値	60	60
			実績値	57	—
			達成度(%)	95.0	—

事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活不活発等による何らかの支援を要する高齢者を早期に把握し、支援につなげることができた。</li> </ul>
-------	---	---

通所型介護予防事業

【長寿支援課】

事業内容	要介護状態となるおそれの高い状態にあると認められる 65 歳以上の人を対象に、運動機能低下の予防・栄養改善・口腔機能の向上、うつ・閉じこもり予防等の介護予防プログラムを行い、生活機能の維持・改善、生活の質（QOL）の向上を図る。				
第6期 実施状況	・みつめてほシート（「介護予防把握事業」）の結果から、要介護状態となるおそれの高い状態にあると認められた高齢者に対し、運動機能低下の予防や口腔機能の向上などの介護予防プログラムを実施した。				
		H27 年度	H28 年度		
	生きがい健康塾	226 人	211 人		
	プールで健康教室	129 人	133 人		
	合計	355 人	344 人		
※H28 年度で通所型介護予防事業（二次予防事業）は終了し、介護予防・生活支援サービス事業へ移行。					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	事業参加者数	人	目標値	400	400
			実績値	355	344
			達成度（%）	88.8	86.0
事業の評価	B	・事業参加者の参加前後の状態を比べると、約 8 割の参加者に生活機能の維持・改善が見られており、介護予防のプログラムとして一定の効果があつたが、目標としていた参加者数には至らなかった。			

訪問型介護予防事業

【長寿支援課】

事業内容	要介護状態となるおそれの高い状態にあると認められる 65 歳以上の人で、通所型事業への参加が困難な人について、訪問型介護予防事業を実施する。 〔介護予防訪問相談、介護予防ホームヘルプ、介護予防配食サービス〕				
第6期 実施状況	・みつめてほシート（「介護予防把握事業」）の結果から、要介護状態となるおそれの高い状態にあると認められた高齢者のうち、心身の状態等により通所型介護予防事業に参加が困難な方に対し、訪問による相談や低栄養状態改善のための配食等を実施した。				
		H27 年度	H28 年度		
	介護予防訪問相談	36 人	37 人		
	介護予防ホームヘルプ	18 人	20 人		
	介護予防配食サービス	5 人	4 人		
※H28 年度で訪問型介護予防事業（二次予防事業）は終了し、介護予防・生活支援サービス事業へ移行。					

指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
			達成度 (%)	—	—
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の日常生活の状況把握と合わせ、健康上のアドバイスや個々に合わせた軽運動の実技的指導を行い、生活や精神面を安定させることで、利用者の生活機能低下防止につなげることができた。</li> </ul>			

介護予防事業評価事業		【長寿支援課】																					
事業内容	本計画において定める目標値に照らした達成状況の検証を通じ、介護予防事業の事業評価を行い、その結果に基づき事業の実施方法等の改善を図る。																						
第6期 実施状況	<b>▽H27年度</b> ・二次予防事業（通所）は参加者の体力測定の結果等から受託事業者や地域包括支援センターにおいて評価を行った。 ・一次予防事業は、参加者アンケート等から主観的な調査（満足度など）を行った。																						
	<b>▽H28年度</b> ・二次予防事業（通所）は参加者の体力測定の結果等から受託事業者や地域包括支援センターにおいて評価を行った。 ・一次予防事業は、参加者の体力測定の結果から受託事業者において評価を行った。																						
	・地域包括支援センターによる事業評価（二次予防事業）																						
	<b>【通所型介護予防事業】</b> (%)																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>参加状況</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業継続</td> <td>3.1</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>悪化（介護給付に変更）</td> <td>4.2</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>悪化（予防給付に変更）</td> <td>3.2</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>一次予防事業に変更</td> <td>1.1</td> <td>7.1</td> </tr> <tr> <td>改善</td> <td>81.6</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>入院・辞退・死亡・転居</td> <td>6.8</td> <td>7.6</td> </tr> </tbody> </table>	参加状況	H27年度	H28年度	事業継続	3.1	4.3	悪化（介護給付に変更）	4.2	1.6	悪化（予防給付に変更）	3.2	4.3	一次予防事業に変更	1.1	7.1	改善	81.6	75.0	入院・辞退・死亡・転居	6.8	7.6	
	参加状況	H27年度	H28年度																				
	事業継続	3.1	4.3																				
	悪化（介護給付に変更）	4.2	1.6																				
	悪化（予防給付に変更）	3.2	4.3																				
	一次予防事業に変更	1.1	7.1																				
	改善	81.6	75.0																				
	入院・辞退・死亡・転居	6.8	7.6																				
	<b>【訪問型介護予防事業】</b> (%)																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>参加状況</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業継続</td> <td>47.2</td> <td>20.9</td> </tr> <tr> <td>悪化（介護給付に変更）</td> <td>13.1</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>悪化（予防給付に変更）</td> <td>13.1</td> <td>16.3</td> </tr> <tr> <td>一次予防事業に変更</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>改善</td> <td>21.0</td> <td>30.2</td> </tr> <tr> <td>入院・辞退・死亡・転居</td> <td>5.2</td> <td>27.9</td> </tr> </tbody> </table>	参加状況	H27年度	H28年度	事業継続	47.2	20.9	悪化（介護給付に変更）	13.1	4.7	悪化（予防給付に変更）	13.1	16.3	一次予防事業に変更	0.0	0.0	改善	21.0	30.2	入院・辞退・死亡・転居	5.2	27.9	
参加状況	H27年度	H28年度																					
事業継続	47.2	20.9																					
悪化（介護給付に変更）	13.1	4.7																					
悪化（予防給付に変更）	13.1	16.3																					
一次予防事業に変更	0.0	0.0																					
改善	21.0	30.2																					
入院・辞退・死亡・転居	5.2	27.9																					
※端数調整の関係で合計は100%とならないものがある。																							

指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28	
	—	—	目標値		—	—
			実績値		—	—
			達成度 (%)		—	—
事業の評価	A	・二次予防事業や一次予防事業について、参加者の体力測定など事業効果の判定を行うことで、事業の評価につなげた。				

地域リハビリテーション活動支援事業		【長寿支援課】		
事業内容	地域における介護予防の取り組みを機能強化するために、通所、訪問、住民運営の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進するような仕組みづくりを行う。			
第6期 実施状況	<p>▽H27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福岡県の介護予防モデル事業（H27～H28）の受託者である筑後地区介護予防支援センターや、地域包括支援センターなどと連携して、モデル事業の実施に向け協議を行った。</li> </ul> <p>&lt;モデル実施地区&gt; 北包括圏域、東包括圏域</p> <p>▽H28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福岡県の介護予防モデル事業（H27～H28）について、筑後地区介護予防支援センターや地域包括支援センターなどと連携して事業を実施した。</li> <li>モデル事業を受け、平成29年度から実施する久留米市の地域リハビリテーション事業について、筑後地区介護予防支援センターや地域包括支援センターとワーキンググループを開催し内容を検討した。</li> </ul> <p>▽H29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業詳細について、地域包括支援センターや筑後地区介護予防支援センターと検討会議開催。（4月から毎月）。</li> <li>地域リハビリテーション事業において、地域へ派遣されるリハビリ専門職向けの説明会にて、事業の主旨等を説明（8月）。</li> <li>地域団体等（11団体）へのリハビリ専門職派遣開始（9月から）。</li> </ul>			
指標 達成状況		H27	H28	H29
	事業進捗目標	・通いの場等へのリハビリテーション専門職の関与のあり方検討 ・リハビリテーション専門職が関与できる団体等の把握	地域リハビリテーション事業の実施	
	実績	県モデル事業実施向け協議	県モデル事業の実施	地域団体等へのリハビリ専門職派遣開始
事業の評価	A	・H29年度から事業を開始し、地域における介護予防活動の普及・拡大に向けた取り組みを始めることができた。		

## この章の評価

### (1) 健康づくりの推進

健康づくりに関する各種教室や相談事業、地域活動の支援事業を実施し、特に地域におけるウォーキングやラジオ体操などの健康づくりが進んだが、健康教育の参加者数や特定健康診査の受診率では目標を達成しておらず、より身近で気軽に参加できる健康教育の場づくりや他の検診項目と一緒に受診できる環境づくりを進める必要がある。

### (2) 介護予防の推進

ここにこステップ運動&スロージョギングをはじめとした介護予防教室や通所型と訪問型の介護予防事業に取り組むとともに、専門講師やリハビリテーション専門職を地域へ派遣する事業を開始し、地域における介護予防活動の普及に努めた。このような地域における介護予防の活動が、主体的かつ継続的に取り組まれるよう支援することが課題となっている。



## 第2章 高齢者の積極的な社会参加・参画

### 【施策の方向性】

高齢者のライフスタイルに応じた生きがいづくりを支援するため、多様性や自主性を尊重しながら、長年の経験に基づく知識や技能を社会のさまざまな分野に活かす取り組みに努める。

また、社会貢献活動を通じた生きがいづくりや介護予防につながる環境づくりに取り組む。

### (1) 高齢者の就業支援

シルバー人材センター支援事業		【労政課】															
事業内容	働く意欲と多彩な技能・知識・経験を持つ高齢者に対して、高齢者などの日常生活における支援として家事援助を展開するなど、地域社会に密着した短期・臨時的就業を提供し、就業機会の増大・福祉の増進を図ることで、高齢者の社会参加や生きがいづくりに寄与し、活力ある地域社会づくりを進める。																
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の短期・臨時的就業の場を提供した。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会員数</td> <td>1,243人</td> <td>1,250人</td> <td>1,314人</td> </tr> <tr> <td>契約実績</td> <td>640,340千円 (17,134件)</td> <td>675,771千円 (16,782件)</td> <td>738,000千円 (目標)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H29年度の会員数は6月末時点</p>						H27年度	H28年度	H29年度	会員数	1,243人	1,250人	1,314人	契約実績	640,340千円 (17,134件)	675,771千円 (16,782件)	738,000千円 (目標)
	H27年度	H28年度	H29年度														
会員数	1,243人	1,250人	1,314人														
契約実績	640,340千円 (17,134件)	675,771千円 (16,782件)	738,000千円 (目標)														
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28												
	会員数	人	目標値	1,380	1,400												
			実績値	1,243	1,250												
			達成度(%)	90.1	89.3												
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな会員の獲得へ向けた周知活動を実施し、高齢者に対し就業の場を提供できた。</li> <li>さらなる会員の拡大や地域課題を踏まえた事業の充実が必要である</li> </ul>															

中高年就労支援		【労政課】	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>久留米市ジョブプラザにキャリアコンサルタント等の資格を持つ就労サポーターを配置し、市民の就労・生活に関する相談に対応する。</li> <li>高齢求職者向けの就職相談窓口である福岡県中高年就職支援センター及び福岡県70歳現役応援センターの出張相談を実施することで、就労支援を推進する。</li> </ul>		

第6期 実施状況	・就労を希望する高齢者からの相談に対応した。				
		H27年度	H28年度	H29年度	
	就労サポーター相談	807件	1,247件	332件	
	福岡県中高年就職支援センター相談	476件	440件	117件	
	福岡県70歳現役応援センター相談	2,196件	1,712件	434件	
	福岡県高齢者能力活用センター相談	542件	522件	136件	
※H29年度は6月末時点。数字は述べ件数。					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	延べ相談数	人	目標値	1,950	2,050
			実績値	4,021	3,921
			達成度(%)	215.4	191.3
事業の評価	A	・H27年度から久留米オフィスが開設された福岡県70歳現役応援センター等の高齢者の就労支援団体との連携を強化したことで、就労支援体制が充実された。			

## (2) 生きがいづくり・仲間づくりの推進

老人クラブ活動支援		【長寿支援課】			
事業内容	<p>老人クラブ活動を通じて、高齢者の連携と幅広い社会参加活動を促進するために、老人クラブが行う健康づくり（スポーツや健康づくりの講座等）、生きがいづくり（社会奉仕活動や文化事業奨励、世代間・団体間交流支援等）、地域見守り事業（地域見守りに関する情報提供相談活動等）に必要な経費の一部を助成する。</p> <p>また、多様化するニーズに対応した活動の充実や加入促進等、老人クラブの活性化のために必要な支援を行う。</p>				
第6期 実施状況	・老人クラブ活動に必要な経費の一部を助成した。				
		H27年度	H28年度	H29年度	
	老人クラブ連合会活動 事業補助金	19,437千円	19,155千円	20,736千円	
	単位老人クラブ活動 事業補助金	19,420千円 (366クラブ)	18,684千円 (352クラブ)	18,105千円 (340クラブ)	
※H29年度は6月末時点					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
			達成度(%)	—	—
事業の評価	B	<p>・クラブが行う健康づくりや生きがいづくり、地域見守り事業の支援につながった。</p> <p>・老人クラブ会員一人あたりの活動回数は増加しているが、減少傾向にある会員の新規獲得が必要である。</p>			

老人いこいの家		【長寿支援課】												
事業内容	高齢者の教養向上及びレクリエーションの場の提供を通じ、健康増進・福祉の向上を図るとともに、地域での生きがいつくり・健康づくり等の拠点として、高齢者はもとより多世代間の交流促進を図る。													
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会奉仕活動、社会参加活動、教養の向上及び趣味等の活動の場を提供した。</li> </ul> <p>【利用実績】 (延人数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>老人いこいの家</td> <td>94,345</td> <td>96,318</td> </tr> <tr> <td>高齢者と子どもの交流施設</td> <td>18,795</td> <td>19,071</td> </tr> </tbody> </table>						H27年度	H28年度	老人いこいの家	94,345	96,318	高齢者と子どもの交流施設	18,795	19,071
	H27年度	H28年度												
老人いこいの家	94,345	96,318												
高齢者と子どもの交流施設	18,795	19,071												
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28									
	延べ利用人数	人	目標値	115,000	115,500									
			実績値	113,140	115,389									
			達成度 (%)	98,4	99.9									
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢者団体の教養向上活動や趣味活動をはじめとしたサークル活動が定期的で開催され、活動の拠点となることができた。</li> <li>・新たな利用者獲得のために、ニーズに沿った事業展開が求められる。</li> </ul>												

小学校コミュニティ・スクール（久留米市版） 中学校コミュニティ・スクール（久留米市版）		【学校教育課】																																		
事業内容	高齢者をゲストティーチャーとして学校に招き学ぶ学習や、高齢者とのふれあいを広げ深める学習、高齢者福祉施設等との交流を行う学習等、各学校が創意工夫した特色ある学校づくりを行う活動に対し支援を行うことで、子どもたちが生き生きと学校生活を送れるようにするとともに、学校が生き生きと活性化することを目指す。																																			
第6期 実施状況	<p>▽H27～29年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">福祉教育を実施した学校</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>46校</td> <td>46校</td> <td>46校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>17校</td> <td>17校</td> <td>17校</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">高齢者との交流を目的とする施設訪問や学校への招待を行った学校</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>39校</td> <td>40校</td> <td>40校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>9校</td> <td>10校</td> <td>10校</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H29年度は予定を含む</p>				福祉教育を実施した学校					H27年度	H28年度	H29年度	小学校	46校	46校	46校	中学校	17校	17校	17校	高齢者との交流を目的とする施設訪問や学校への招待を行った学校					H27年度	H28年度	H29年度	小学校	39校	40校	40校	中学校	9校	10校	10校
福祉教育を実施した学校																																				
	H27年度	H28年度	H29年度																																	
小学校	46校	46校	46校																																	
中学校	17校	17校	17校																																	
高齢者との交流を目的とする施設訪問や学校への招待を行った学校																																				
	H27年度	H28年度	H29年度																																	
小学校	39校	40校	40校																																	
中学校	9校	10校	10校																																	

指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28	
	地域活用時間数 (1学級あたり年間平均)	時間	目標値		35	35
			実績値		26.6	25.22
			達成度 (%)		76.0	72.1
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の福祉に関する見識を高めるとともに、高齢者の生きがいがづくりにもつながる双方向的学習活動が定着してきた。</li> <li>・校区内の施設の有無等により、活動状況に濃淡が見られた。</li> </ul>				

### (3) 生涯学習・生涯スポーツの推進

えーるピアシニアカレッジ				【生涯学習推進課】									
事業内容	高齢者が健康で生きがいのある社会生活を送れるよう、高齢者の生活課題に関連した講座や、知識、技術を習得する機会を提供するとともに、受講生及び修了生の学校や施設への派遣等自主的な活動の支援を行う。												
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生及び修了生を、ニュースポーツや子どもとの交流の場などへ派遣した。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講者数</td> <td>214人</td> <td>202人</td> <td>179人</td> </tr> </tbody> </table>						H27年度	H28年度	H29年度	受講者数	214人	202人	179人
	H27年度	H28年度	H29年度										
受講者数	214人	202人	179人										
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28								
	受講者数	人	目標値	220	220								
			実績値	214	202								
			達成度 (%)	97.3	91.8								
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が生きがいを持って社会生活を送ることに寄与できた。</li> <li>・新規受講生の獲得及びボランティア活動の推進が課題である。</li> </ul>											

高齢者パソコン教室				【生涯学習推進課】									
事業内容	パソコンに触れる機会の少ない高齢者を対象に基本操作を学習する機会を提供し、情報化社会の利便性を理解してもらうことで、社会参加や生きがいがづくりのきっかけづくりを支援する。												
第6期 実施状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講者数</td> <td>27人</td> <td>32人</td> <td>32人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H29年度は予定 ※講師は各年度ともえーるピアパソコン寺子屋及びえーる PC クラブ</p>						H27年度	H28年度	H29年度	受講者数	27人	32人	32人
	H27年度	H28年度	H29年度										
受講者数	27人	32人	32人										

指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	受講者数	人	目標値	32	32
			実績値	27	32
			達成度 (%)	84.4	100.0
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座の実施に加え終了後にフォローアップを行うことで、情報化社会の利便性への理解が進み、高齢者の社会参加や生きがいの契機となった。</li> </ul>			

高齢者社会参加促進事業			【長寿支援課】		
事業内容	<p>高齢者の健康保持、世代間交流の促進、創造意欲の喚起による生きがいづくりのために、ゲートボール、グラウンド・ゴルフやニュースポーツをはじめとするスポーツ大会や、個人の持つ豊かな経験と技術を生かした作品（絵画、書道、手芸・工芸等）を展示する高齢者作品展を開催する。</p>				
第6期 実施状況	▽H27～28年度				
		H27年度	H28年度		
	ゲートボール大会	16チーム 85人	15チーム 82人		
	グラウンド・ゴルフ大会	411人	371人		
	ニュースポーツ世代間交流会	107人	250人		
	高齢者作品展	<ul style="list-style-type: none"> <li>出品数 249点</li> <li>出品者 563人</li> <li>来館者 1,281人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出品数 221点</li> <li>出品者 639人</li> <li>来館者 1,217人</li> </ul>		
<p>※ニュースポーツ世代間交流会では、ダーツ、ディスコン、風船バレー、カローリング等を実施</p>					
▽H29年度					
<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲートボール大会、グラウンド・ゴルフ大会、ニュースポーツ世代間交流会、高齢者作品展を実施予定。</li> </ul>					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	延べ参加・ 出品者数	人	目標値	1,300	1,400
			実績値	1,166	1,342
			達成度 (%)	89.7	95.9
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会を通して高齢者相互の交流、健康づくり、生きがいに寄与できた。</li> </ul>			

生涯スポーツの推進		【体育スポーツ課】												
事業内容	ライフステージに応じた市民スポーツが推進されるよう、高齢者をはじめ誰もが気軽に楽しむことができるニュースポーツ等の各種スポーツ教室の開催等に取り組み、市民スポーツ活動を支援する。													
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者をはじめとする誰もが気軽に楽しむことができるニュースポーツ等の各種スポーツ大会を開催した。</li> </ul> ▽H27～28年度実績 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ教室</td> <td>13回 延べ参加者 467人</td> <td>11回 延べ参加者 383人</td> </tr> <tr> <td>市民スポーツ推進事業</td> <td>18回 延べ参加者 303人</td> <td>18回 延べ参加者 412人</td> </tr> </tbody> </table> ▽H29年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ教室の開催</li> <li>・運動習慣づくり事業の開催</li> </ul>						H27年度	H28年度	スポーツ教室	13回 延べ参加者 467人	11回 延べ参加者 383人	市民スポーツ推進事業	18回 延べ参加者 303人	18回 延べ参加者 412人
		H27年度	H28年度											
	スポーツ教室	13回 延べ参加者 467人	11回 延べ参加者 383人											
	市民スポーツ推進事業	18回 延べ参加者 303人	18回 延べ参加者 412人											
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28									
	スポーツ教室延べ 参加者数 (高齢者対象分)	人	目標値	110	120									
			実績値	770	795									
達成度 (%)			700.0	662.5										
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろ運動習慣のない方を対象にニュースポーツをメインとしてスポーツ教室を開催し、スポーツに取り組む契機となった。</li> </ul>												

#### (4) 社会貢献活動の促進

高齢者の生きがいと健康づくり推進事業		【長寿支援課】									
事業内容	高齢者が地域での社会貢献活動を通して、生きがいづくりや健康づくりに取り組めるように、要支援者などに対する家事援助をはじめとした生活支援のやり方やコミュニケーション技術など、地域での活動に関する講座を開催する。										
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体等で介護予防に取り組む上で有用な体操や、コミュニケーション技術に関する講座を実施した。</li> </ul> ▽H27～28年度実績 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講者数</td> <td>延べ 128人</td> <td>延べ 79人</td> </tr> </tbody> </table> ▽H29年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度をもって、講座として終了。今後は、第1章「地域介護予防活動支援事業」にて、地域での介護予防の推進に取り組む。</li> </ul> ※制度改正に伴い、H27・28年度は、第1章「健康づくりと介護予防の推進」中の「介護予防普及啓発事業」として実施。						H27年度	H28年度	受講者数	延べ 128人	延べ 79人
		H27年度	H28年度								
	受講者数	延べ 128人	延べ 79人								

指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	受講者数	人	目標値	70	75
			実績値	128	79
			達成度 (%)	182.9	105.3
事業の評価	A	・地域での介護予防の普及啓発に寄与した。			

協働ネットワーク形成促進事業				【協働推進課】	
事業内容	市民活動サポートセンターの適正な運営管理に取り組むとともに、ボランティア情報ネットワークでの情報発信、市民活動保険への加入、市民活動情報紙等の発行、協働ネットワーク形成促進事業などの市民活動に関するさまざまな支援を通して、市民活動の活性化を図る。				
第6期 実施状況	・市民活動サポートセンターの運営管理に取り組むとともに、市民活動に関するさまざまな支援を行った。				
		H27年度	H28年度	H29年度	
	ボランティア情報ネットワークでの情報発信(情報提供団体数)	472	475	480(目標)	
	メールマガジン「えぬびおーれ」配信	全22回	全33回	全24回(予定)	
	市民活動情報紙「ジョイクス」発行	年2回 全戸配布	年1回 全戸配布	年1回 全戸配布	
	市民活動保険の受け付け	146件	148件	—	
	協働ネットワーク交流会、市民活動フォーラムの開催	各1回	各1回	市民活動フォーラムを実施予定	
	協働コーディネート事業の開催	H27:「協働実践プロジェクト」講座 H28、29:「くるめ協働生みだす会議」発表会開催			
※H29年度は6月末時点					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	ボランティア情報ネットワーク情報提供団体数	団体	目標値	460	470
			実績値	472	475
			達成度 (%)	102.6	101.1
事業の評価	A	・市民活動に関する各種支援や市民活動サポートセンター主催の講座及び情報発信等により、各市民活動団体の活動の定着が進んだ。			

<p>事業内容</p>	<p>市民にとって身近な公共空間である道路、公園、河川等の公共施設の美化を促進するため、市民等のボランティアによる美化活動を支援する環境美化ボランティア推進事業を実施し、環境美化に対する市民意識の高揚を図り、もって市民等と市が協働して散乱ごみのないきれいな公共空間の創出を図る。</p>																				
<p>第6期 実施状況</p>	<p>・市民等のボランティアによる美化活動を支援した。</p> <table border="1" data-bbox="392 584 1353 831"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数</td> <td>20,692人 (530団体)</td> <td>21,260人 (556団体)</td> <td>21,286人 (562団体)</td> </tr> <tr> <td>年間延活動人数</td> <td>63,047人</td> <td>71,859人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ごみ収集量 (ごみ袋換算)</td> <td>16,264枚分</td> <td>14,112枚分</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H29年度は7月末時点</p>						H27年度	H28年度	H29年度	登録者数	20,692人 (530団体)	21,260人 (556団体)	21,286人 (562団体)	年間延活動人数	63,047人	71,859人	—	ごみ収集量 (ごみ袋換算)	16,264枚分	14,112枚分	—
	H27年度	H28年度	H29年度																		
登録者数	20,692人 (530団体)	21,260人 (556団体)	21,286人 (562団体)																		
年間延活動人数	63,047人	71,859人	—																		
ごみ収集量 (ごみ袋換算)	16,264枚分	14,112枚分	—																		
<p>指標 達成状況</p>	<p>指標の内容</p>	<p>単位</p>		<p>H27</p>	<p>H28</p>																
<p>—</p>	<p>—</p>		<p>目標値</p>	<p>—</p>	<p>—</p>																
<p>—</p>	<p>—</p>		<p>実績値</p>	<p>—</p>	<p>—</p>																
<p>—</p>	<p>—</p>		<p>達成度 (%)</p>	<p>—</p>	<p>—</p>																
<p>事業の評価</p>	<p>A</p>	<p>・高齢者のみならず広く市民との協働のもと活動を行い、環境美化の推進及び意識が高揚した。</p>																			



## この章の評価

### (1) 高齢者の就業支援

シルバー人材センター事業による高齢者の就労の場の提供や、久留米市ジョブプラザにおける就労相談、福岡県の高齢求職者向け就職相談と連携した相談事業の実施により、高齢者の就労支援が進んだ。

### (2) 生きがいづくり・仲間づくりの推進

老人クラブの活動支援や老人いこいの家の運営を通じて高齢者の生きがいづくり、健康づくりを支援した。また、小中学校コミュニティ・スクール事業による高齢者の社会参加や世代間交流の促進に努めた。しかし、老人クラブの会員数は減少傾向にあるため、老人クラブの活性化が課題となっている。

### (3) 生涯学習・生涯スポーツの推進

えーるピアシニアカレッジや高齢者パソコン教室を開催するとともに、ゲートボールをはじめとする各種スポーツの大会や教室、芸術分野の作品展を開催し、高齢者の社会参加や健康づくりを進めた。

### (4) 社会貢献活動の促進

市民活動サポートセンターの運営やボランティア情報ネットワークによる情報発信等により、高齢者を含めた市民活動の定着を進めた。

### 第3章 高齢者の在宅生活を支える仕組みづくり

#### 【施策の方向性】

高齢者がいつまでも在宅で生活を続けるためには、公的なサービスのみならず、地域の理解に基づくインフォーマルな支援が必要である。日常生活のサポートをはじめ災害時の援護体制の確保など高齢者を支える体制の整備に努める。

#### (1) 一人暮らし高齢者等への在宅生活支援

緊急通報システム貸与事業		【長寿支援課】								
事業内容	一人暮らしや日中独居状態となる高齢者で心疾患等の慢性疾患があり、日常生活において常時注意が必要な人や、身体障害者の人で緊急時における対応が困難な人に対して、急病などの緊急時に登録先に通報できる通信機器の貸与を行うことで、緊急時の不安を解消し、生活の安全確保を図る。									
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>要件に合致する高齢者に対し、緊急通報装置の貸与を行った。</li> </ul>									
	▽H27～28年度実績 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸与実績</td> <td>223台</td> <td>218台</td> </tr> </tbody> </table> ▽H29年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活における健康面等の不安解消を目的とした相談機能を付加する。</li> <li>人感センサーを用いた24時間体制の見守り機能を付加する。</li> </ul>						H27年度	H28年度	貸与実績	223台
	H27年度	H28年度								
貸与実績	223台	218台								
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28					
	—	—	目標値	—	—					
			実績値	—	—					
達成度 (%)			—	—						
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の日常生活上の安全確保や不安解消に寄与できた。</li> <li>減少傾向にある貸与件数の増を図る必要がある。</li> </ul>								

小地域ネットワーク活動の推進		【久留米市社会福祉協議会】	
事業内容	一人暮らしや高齢者世帯等が地域の中で孤立することなく安心して生活できるよう、地域住民による支え合い・助け合い活動や地域における福祉の啓発等の推進のために、地区社協の実施する小地域（概ね小学校区）を単位とする要援護者一人ひとりを対象とした見守り・援助活動（ふれあい訪問活動、食事サービス、ふれあい・いきいきサロン）を支援する。		

第6期 実施状況	▽H27～28年度				
		H27年度		H28年度	
	見守り活動	41 地区社協で実施		43 地区社協で実施	
	訪問構成員/対象者	構成員 2,769 人 訪問対象者 10,221 人		構成員 2,814 人 訪問対象者 10,833 人	
	食事サービス	37,117 食 (34 地区)		35,916 食 (34 地区)	
	ふれあい・いきいき サロン開催	延 1,566 回 (34 地区) 参加者 25,982 人		延 2,005 回 (38 地区) 参加者 35,919 人	
	▽H29年度 ・ふれあいの会の組織体制充実に取り組む。				
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	ふれあい訪問活動 訪問回数	回	目標値	108,000	109,000
			実績値	114,394	125,861
			達成度 (%)	105.9	115.5
事業の評価	A	・活動地域を着実に広げ、多くの一人暮らし高齢者等の生活を支援することができた。			

地区ふれあい活動コーディネーターの育成		【久留米市社会福祉協議会】			
事業内容	地域における要支援者の生活課題を発見し、その解決のために必要に応じて地域での生活支援活動や公的福祉サービス等の利用につなげる「地区ふれあい活動コーディネーター」を養成する。併せて、「地区ふれあい活動コーディネーター」の必要性と役割についての理解を深める学習会を実施する。				
第6期 実施状況	・地域包括ケアシステム構築へ向けた取り組みの一つである生活支援体制整備事業が開始し、「支え合い推進会議」（「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置」参照）が同様の役割を担っているため、事業未実施である。				
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	学習会実施校区数	校区	目標値	8	8
			実績値	0	0
			達成度 (%)	0.0	0.0
事業の評価	C	・本事業の目的である生活課題の発見や地域における生活支援活動の発掘については、別途「生活支援体制整備事業」（「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置」「協議体の設置」参照）がその役割を担っているため、事業未実施となった。			

事業内容	地域の生活課題を発見し、課題解決に取り組む活動の担い手となるボランティアの活性化と活動への市民参加意識の醸成を図るため、ボランティアセンターの機能を充実するとともに運営を強化する。				
第6期 実施状況	<p>▽H27～28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア連絡協議会との協働により研修会・学習会を実施した。</li> <li>・ボランティア活動に対する市民の理解を広げるためのボランティアフェスティバルを実施した。</li> <li>・ボランティアグループに対し、活動のための資機材提供や助成金の相談等の活動支援を行った。</li> <li>・被災地でのボランティア活動へ市民が参加しやすいよう、市と協働しボランティアバスを運行した。</li> </ul> <p>▽H29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来兼務だったボランティア活動担当職員を専任で配置し、体制の強化を図っている。</li> <li>・ボランティアセンターの広報紙を発行し、ボランティアのニーズ情報や活動情報についての情報発信に努める。</li> </ul>				
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
		達成度 (%)	—	—	
事業の評価	A	・ボランティア及びボランティア活動を支援する拠点としての機能を果たすことができた。			

事業内容	地域の皆さんや個人宅を訪問する事業者、行政などの関係機関が協力して、「くるめ見守りネットワーク」に取り組み、地域全体で見守り活動を行い、日常生活における異変を早期に発見し、支援につなげる取り組みを推進する。													
第6期 実施状況	<p>▽H27～29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市と関係機関とが協力し「くるめ見守りネットワーク」に取り組んでいる。</li> <li>・365日24時間体制で見守りほっとライン対応を行い、関係機関や関係部局等と連携し安否確認などを行った。</li> <li>・協力事業者等からの通報により孤立死の危機を早期に発見し、4件を救出につなげた。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="421 1877 1331 2002"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力事業者数</td> <td>103</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>通報実績</td> <td>28件</td> <td>28件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報紙「くるめ見守り通信」の発行や協力事業者向けの研修会実施により、事業の広報・啓発を行っている。</li> </ul>						H27年度	H28年度	協力事業者数	103	105	通報実績	28件	28件
	H27年度	H28年度												
協力事業者数	103	105												
通報実績	28件	28件												

指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28	
	—	—	目標値		—	—
			実績値		—	—
			達成度 (%)		—	—
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関等との連携により、地域全体での見守り活動に成果が出ている。</li> <li>・見守りほっとライン通報件数は減少傾向にあるため、より効果的な周知啓発方法を検討する必要がある。</li> </ul>				

高齢者の交通事故防止		【安全安心推進課】			
事業内容	セーフコミュニティの重点取り組み項目である「高齢者の交通事故防止」について、事故の予防に重点を置いた各種啓発活動を、関係機関等との連携により展開する。				
第6期 実施状況	▽H27～28年度				
		H27年度		H28年度	
	街頭啓発キャンペーン	11回		11回	
	出前講座	12回 参加者 283人		8回 参加者 321人	
	高齢者交通安全教室	34回 参加者約 2,100人		30回 参加者約 1,436人	
	その他啓発事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季の交通安全運動期間中の各種イベントによる啓発</li> <li>・シルバーセーフティスクール</li> <li>・セーフコミュニティフェスタでの啓発 など</li> </ul>			
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	キャンペーン 実施回数	回	目標値	10	11
			実績値	11	11
			達成度 (%)	110.0	100.0
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関等との連携のもと、高齢者の交通事故防止へ向けた取り組みを推進することができた。</li> </ul>			

(2) 介護家族への支援

家族介護支援事業		【長寿支援課】			
事業内容	在宅で介護を行う家族等に対して、専門家による介護教室の実施や、介護に関する悩みなどについて情報交換や意見交換を行う場を設けるなど、介護者の負担軽減や孤立化防止を図る。				
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅介護において必要となる基本的な知識及び介護技術の習得を目的とする「介護技術講座」を実施した。</li> <li>認知症に関する基礎的な知識を習得するとともに、介護者のストレスケアを行うことを目的とする「認知症ケア講座」を実施した。</li> </ul>				
	▽家族介護教室参加者数				
		H27年度	H28年度		
	介護技術講座	30人	27人		
認知症ケア講座	44人	35人			
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	家族介護教室 参加者	人	目標値	120	150
			実績値	74	62
			達成度 (%)	61.7	41.3
事業の評価	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者が定員に満たない状態が続いている。</li> <li>講座内容の検討や介護者が参加しやすい環境づくりが必要である。</li> </ul>			

生活支援ショートステイ		【長寿支援課】			
事業内容	高齢者が在宅生活を送る上において、一時的に養護する必要がある場合及び心身機能の向上等を図る必要がある場合に、短期間、高齢者福祉施設等に入所することにより、本人及びその家族の福祉の向上を図る。				
第6期 実施状況	▽H27～28年度				
		H27年度	H28年度		
	ケアハウス・軽費老人ホーム	8件	2件		
	養護老人ホーム	3件	1件		
特別養護老人ホーム	1件	2件			
指標 達成状況	▽H29年度				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きケアハウス・軽費老人ホーム、養護老人ホーム及び特別養護老人ホームにおいて、事業を実施している。</li> </ul>				
	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
		実績値	—	—	
		達成度 (%)	—	—	
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業内容及び目的に沿った事業の実施ができ、介護家族等の負担軽減につなげることができた。</li> <li>介護保険制度の要支援・要介護認定謝意が居野高齢者を対象としているため、一定のニーズはあるものの、利用者の増加は見込むことが難しい。</li> </ul>			

介護用品支給事業		【長寿支援課】			
事業内容	要介護3以上の非課税世帯の在宅生活者で、常時おむつを使用している人に対し、紙おむつ購入代金の一部として介護用品給付券を交付することで、介護者の介護負担の軽減を図り、在宅での生活の支援を行う。				
第6期 実施状況	▽H27～28年度				
		H27年度	H28年度		
	支給決定者数	480人	492人		
	延利用者数	3,458人	3,814人		
	登録事業所数	12事業所	14事業所		
	支給総額	10,203千円	11,132千円		
	▽H29年度 ・引き続き介護用品給付券の交付により、介護者の負担軽減を図っている。				
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
達成度(%)			—	—	
事業の評価	A	・利用者は増加傾向にあり、介護者の経済的負担軽減に寄与し、在宅介護を支援できた。			

### (3) 災害時のための援護体制

災害時要援護者の支援		【地域福祉課】			
事業内容	災害発生時に、要援護者の安否確認や避難情報の伝達等を速やかに行うための支援体制構築へ向け、災害時要援護者の名簿登録を進め、関係機関等で名簿情報を共有し、日頃から要援護者の状況把握に努めることで災害時の要援護者に係る人的被害の軽減を図る。				
第6期 実施状況	▽H27～28年度				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員の在宅高齢者基礎調査において、災害時要援護者登録促進の協力を依頼した。</li> <li>災害時要援護者名簿の管理システムと住民基本台帳等のデータを連携した地域福祉支援システムを導入した。</li> <li>各校区で名簿を利用した図上訓練を実施した。</li> </ul>				
		H27年度	H28年度		
	新規実施	12校区	9校区		
	再実施	6校区	9校区		
	▽H29年度				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時要援護者名簿の更新を行った。</li> <li>名簿を活用した図上訓練を実施する。(新規実施予定4校区)</li> </ul>				

指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	名簿登録者数	人	目標値	—	8,000
			実績値	6,265	6,000
			達成度 (%)	—	75.0
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名簿の登録や各校区において訓練がなされ、災害時の円滑な安否確認・避難支援へ向けた取り組みが進んだ。</li> <li>・災害時要援護者名簿への登録促進へ向けたさらなる周知が必要である。</li> </ul>			

一人暮らし高齢者宅等への防火指導			【久留米広域消防本部】											
事業内容	<p>災害時要援護者防火対策の一環として、一人暮らしの高齢者宅及び緊急通報システム設置者宅を訪問し、防火・防災指導等を実施することで、防火・防災意識の向上と居住環境の安全の普及を図り、防火安全対策を推進するとともに、災害時要援護者の状況を把握する。</p>													
第6期 実施状況	<p>▽H27～28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時要援護者防火対策として、次の指導を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①一人暮らし高齢者宅防火指導</li> <li>②緊急通報システム設置者宅防火指導</li> </ul> </li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>189件</td> <td>280件</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>144件</td> <td>128件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①については、H28年度から戸別訪問による指導に加え、新たに集団指導を実施した。</li> </ul> <p>▽H29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、災害時要援護者への防火指導を実施していく。</li> </ul>						H27年度	H28年度	①	189件	280件	②	144件	128件
	H27年度	H28年度												
①	189件	280件												
②	144件	128件												
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28									
	防火指導件数	世帯	目標値	600	600									
			実績値	333	408									
			達成度 (%)	55.5	68.0									
事業の評価	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望者を募って指導を実施しているが、戸別訪問を望まない高齢者も多く、指導件数が伸びていない。</li> <li>・新たに集団指導に取り組んだことで指導に広がりが見えたが、今後も防火・防災意識の普及に努める必要がある。</li> </ul>												



事業内容	防火安全対策の推進のため、施設責任者及び従業員に対して防火指導を実施し、防火知識の普及・啓発及び意識の向上による防火・防災体制の構築を図り、施設利用者の安全を確保する。																
第6期 実施状況	<p>▽H27～29 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険施設等からの依頼に基づき、施設責任者及び従業員を対象に防火指導を実施している。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="395 539 1273 663"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27 年度</th> <th>H28 年度</th> <th>H29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施施設数</td> <td>167 件</td> <td>188 件</td> <td>61 件</td> </tr> <tr> <td>実施人数</td> <td>4,546 人</td> <td>5,173 人</td> <td>1,471 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H29 年度は 6 月末時点</p>						H27 年度	H28 年度	H29 年度	実施施設数	167 件	188 件	61 件	実施人数	4,546 人	5,173 人	1,471 人
	H27 年度	H28 年度	H29 年度														
実施施設数	167 件	188 件	61 件														
実施人数	4,546 人	5,173 人	1,471 人														
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28												
	防火指導件数	施設	目標値	120	120												
			実績値	167	188												
			達成度 (%)	139.2	156.7												
事業の評価	A	適切な防火指導の実施により、介護保険施設等における防火対策の推進を図ることができた。															

(4) 生活支援サービスの体制整備

事業内容	高齢者の生活支援の担い手となる地域資源の発掘・養成・組織化や、これらと関係機関等とのネットワーク化、地域ニーズの把握等を行う「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」を配置する。				
第6期 実施状況	<p>▽H27 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援体制の整備へ向け、庁内関係課や関係機関で構成する研究会を開催し、事業の方向性等について協議を行った。</li> <li>生活支援コーディネーターや協議体の具体的な体制、機能・役割等について、関係団体等との調整を行った。</li> </ul> <p>▽H28 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1層生活支援コーディネーターを市に2名配置した。</li> <li>第2層生活支援コーディネーターを社協に専任で2名配置した。</li> </ul> <p>▽H29 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1層生活支援コーディネーターを市に2名増員した。</li> <li>第2層生活支援コーディネーターを社協に専任で2名増員した。</li> </ul>				

指標 達成状況		H27	H28	H29
	事業進捗目標	関係機関との調整	コーディネーター配置	
	実績	関係機関との調整	市2名 社協2名	市4名 社協4名
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着実に生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援に取り組むことができた。</li> <li>・第1層及び第2層の生活支援コーディネーター間での事業に対する共通認識を持たせるとともに、コーディネーターのスキルアップへ向けた取り組みが必要である。</li> </ul>		

協議体の設置		【地域福祉課】		
事業内容	生活支援サービスの体制整備に向けて、市民公益活動団体、民間企業、住民組織等地域の生活支援サービスに関わる関係者等が参画し、情報交換及び連携・協働による資源開発等を行うための協議体を設置する。			
第6期 実施状況	<p>▽H27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援体制の整備へ向け、庁内関係課や関係機関で構成する研究会を開催し、事業の方向性等について協議を行った。(再掲)</li> <li>・生活支援コーディネーターや協議体の具体的な体制、機能・役割等について、関係団体等との調整を行った。(再掲)</li> </ul> <p>▽H28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い推進会議設置について、関係機関等へ説明を実施した。</li> <li>・支え合い推進会議(協議会)を5校区で設置した。</li> </ul> <p>▽H29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い推進会議(協議会)を7校区で設置した。</li> <li>・支え合い推進会議の取り組み状況等について、関係機関等へ説明を実施している。</li> </ul>			
指標 達成状況		H27	H28	H29
	事業進捗目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議体設置へ向けた調整</li> <li>・地域資源の把握</li> </ul>	協議体設置	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会の設置</li> <li>・地域資源の把握</li> </ul>	協議体設置 5校区	協議体設置 7校区(累計12校区) (H29.7月末時点)
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね予定通り協議体を各校区に設置することができ、生活支援体制に広がりが見られている。</li> <li>・生活支援コーディネーターによる、校区での地道な周知啓発が必要である。</li> </ul>		

**(1) 一人暮らし高齢者等への在宅生活支援**

緊急通報装置の貸与やふれあい訪問活動等により、一人暮らし高齢者の在宅生活への支援に努めた。一方で、緊急通報装置の利用や見守りほっとラインの通報件数は減少傾向にあるため、これらのさらなる周知に取り組む必要がある。

**(2) 介護家族への支援**

生活支援ショートステイ事業や介護用品（おむつ等）購入費の一部助成により、介護者の負担軽減を図り、在宅介護の支援につなげた。しかし、家族介護教室の参加者数は目標に達しておらず、講座内容の見直しや受講しやすい環境づくりに取り組む必要がある。

**(3) 災害時のための援護体制**

災害時要援護者名簿への登録を進めるとともに、一人暮らし高齢者宅や介護保険施設等への防火指導を実施することで、災害時に支援が必要な高齢者を支える体制整備に努めた。しかし、戸別訪問を望まない高齢者も多いことから、個人宅への防火指導件数が伸びておらず、今後は、平成 28 年度より開始した集団指導の実施場所を増やすなどの工夫をしながら、防火・防災意識の普及に取り組む必要がある。

**(4) 生活支援サービスの体制整備**

生活支援コーディネーターの配置及び支え合い推進会議（協議体）の設置を行い、地域ニーズの把握や関係機関・団体間での情報交換などに取り組んだ。今後は、地域における高齢者の生活支援体制の広がりを目指し、さらなる体制の充実に努めていく必要がある。

## 第4章 地域連携による高齢者支援

### 【施策の方向性】

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活できるように、高齢者やその家族にとって身近な相談窓口である地域包括支援センターの機能の拡充や、多職種連携による個別課題の解決やそのための資源開発・地域づくりなどを推進するための地域ケア会議に取り組む。また、医療と介護サービスの提供を継続的・一体的に受けられるよう、これらの連携を推進する。

### (1) 地域包括支援センターの機能の充実・強化

地域包括支援センター運営事業		【長寿支援課】															
事業内容	<p>地域包括支援センター職員（保健師等、社会福祉士、主任介護支援専門員）が、より身近で機動的に高齢者支援を行うことができるように、すべての日常生活圏域に地域包括支援センターを設置し、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援していく。</p> <p>また、地域包括ケアの中核的機関として、地域の関係機関・団体等とのネットワーク構築を進める。</p>																
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアの中核機関として、地域の関係機関・団体等とのネットワークを構築しながら、高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のための支援を行った。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合相談</td> <td>23,469件</td> <td>22,672件</td> </tr> <tr> <td>連携業務</td> <td>1,771件</td> <td>1,826件</td> </tr> <tr> <td>介護予防支援事業</td> <td>3,327件</td> <td>3,368件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度に西第2センター、H28年度に北第2センターを設置し、市内9か所となった。</li> <li>・H29年度には、中央圏域にセンターを新たに2か所設置予定。</li> </ul>						H27年度	H28年度	総合相談	23,469件	22,672件	連携業務	1,771件	1,826件	介護予防支援事業	3,327件	3,368件
	H27年度	H28年度															
総合相談	23,469件	22,672件															
連携業務	1,771件	1,826件															
介護予防支援事業	3,327件	3,368件															
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28												
	地域包括支援センター 設置数	か所	目標値	8	9												
			実績値	8	9												
			達成度(%)	100.0	100.0												
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通りに地域包括支援センターを整備し相談拠点を増設することで、包括的な福祉の増進を図ることができた。</li> </ul>															

(2) 地域ケア会議の効果的な運営

地域ケア会議の推進		【長寿支援課】														
事業内容	<p>介護支援専門員などの多職種や民生委員をはじめとする地域の支援者等による専門的かつ多様な視点を踏まえながら、日常生活において課題を抱えている高齢者の支援や、地域で活動する介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの支援について検討する。併せて、それらの個別ケースの課題分析等を行う中で構築される関係者間でのネットワークを通じて地域課題を発見し、地域に必要な資源開発や地域づくり、さらには政策形成につなげることを目指して地域ケア会議を実施する。</p>															
第6期 実施状況	<p>▽H27～28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援地域ケア会議について、H27年度は、10月より市内5か所（各包括圏域）で毎月開催し、1回につき5つのケアプランを対象とし、6ヶ月間で150件の検討を実施した。また、H28年度は、引き続き、市内5か所（各包括圏域）で計50回開催し、250件の事例について検討した。</li> <li>個別支援地域ケア会議及び地域課題検討ケア会議について、「認知症高齢者や見守りが必要な高齢者を地域でどのように支援していくか」、「地域の高齢者が気軽に通える集いの場ができないか」などのテーマについて、地域住民、専門職、地域包括支援センター、市で検討し、課題解決に向けて取り組みを進めた。</li> </ul> <p>【会議開催状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自立支援地域ケア会議</td> <td>30回（150件）</td> <td>50回（250件）</td> </tr> <tr> <td>個別支援地域ケア会議</td> <td>29会議体</td> <td>52会議体</td> </tr> <tr> <td>地域課題検討ケア会議</td> <td>29会議体</td> <td>47会議体</td> </tr> </tbody> </table>					H27年度	H28年度	自立支援地域ケア会議	30回（150件）	50回（250件）	個別支援地域ケア会議	29会議体	52会議体	地域課題検討ケア会議	29会議体	47会議体
		H27年度	H28年度													
	自立支援地域ケア会議	30回（150件）	50回（250件）													
個別支援地域ケア会議	29会議体	52会議体														
地域課題検討ケア会議	29会議体	47会議体														
<p>▽H29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援地域ケア会議については、引き続き市内5か所で実施する。</li> <li>個別支援地域ケア会議及び地域課題検討ケア会議については、地域包括支援センターを中心に開催し、個別や地域の課題解決に取り組む。</li> <li>全市的な地域ケア会議を開催する。</li> </ul>																
指標 達成状況		H27	H28	H29												
	事業進捗目標	地域ケア会議の実施														
	実績	地域ケア会議の実施														
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援ケア会議について、市内5か所で開催することに加え、職能団体のアドバイザーとの意見交換を実施し、課題の分析・検討を進めることができた。</li> <li>個別支援地域ケア会議及び地域課題検討ケア会議について、各校区や圏域等で開催し、認知症支援や介護予防の推進などをテーマとして、課題解決に向けた取り組みを進めた。</li> </ul>														

(3) 在宅医療・介護連携の推進

在宅医療・介護連携に向けた資源の把握及び課題抽出と対応策の検討										
【保健所健康推進課】										
事業内容	<p>地域の医療・介護サービスに係る関係機関へ調査を行い、社会資源情報の一元的な把握を行うとともに、それらの分析による課題の把握や検討を行う。</p> <p>また、在宅医療と介護の連携に係る関係機関・団体による協議の場（在宅医療・介護連携推進協議会）を設け、課題の抽出や対応策の検討を行う。</p>									
第6期 実施状況	<p>▽H27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療介護に関連する社会資源情報を一元的に把握すること及び地域課題を抽出することを目的とした調査を実施し、集約した情報を、地域の医療介護関係者に配布するとともに、市民に公開した。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">調査対象</td> <td>医療機関・介護施設 1,291 か所</td> </tr> <tr> <td>収集内容</td> <td>事業所名、運営情報、利用者情報など</td> </tr> <tr> <td>調査回答率</td> <td>62.4%</td> </tr> </table> <p>▽H28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会資源調査結果の情報提供（研究機関 Web からのダウンロードによる開示、冊子閲覧による市民への公開）。</li> <li>在宅医療・介護連携推進協議会の設置・運営（3回）。</li> </ul> <p>▽H29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護連携推進協議会の開催（3回）。</li> <li>在宅医療・介護連携推進に係る課題分析事業の実施。</li> </ul>				調査対象	医療機関・介護施設 1,291 か所	収集内容	事業所名、運営情報、利用者情報など	調査回答率	62.4%
調査対象	医療機関・介護施設 1,291 か所									
収集内容	事業所名、運営情報、利用者情報など									
調査回答率	62.4%									
指標 達成状況		H27	H28	H29						
事業進捗目標		社会資源情報の一元的な把握、分析等	把握した社会資源情報の共有化や公開手法等の検討・協議等	社会資源情報の更新等						
実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の設置、協議等の実施</li> <li>社会資源情報の一元的な把握、分析</li> </ul>	把握した社会資源情報の共有化							
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域への医療・介護サービスに係る関係機関へ調査を実施し、社会資源情報の一元的な把握・分析を行った。</li> <li>在宅医療・介護連携推進協議会を設置・開催し、在宅医療・介護連携に係る課題の抽出や対応策について検討が進んだ。</li> <li>把握した社会資源の公開手法等について検討を進める必要がある。</li> </ul>								

在宅医療・介護連携に関する相談支援

【保健所健康推進課】

<p>事業内容</p>	<p>保健所に設置している「在宅医療相談窓口」において、市民からの在宅医療に係る相談受付を行うとともに、医療・介護関係者や地域包括支援センター等からの相談受付や情報提供等を行う「在宅医療・介護連携支援センター(仮称)」の設置に向け、医師会と連携・協議しながら取り組みを進める。</p>			
<p>第6期 実施状況</p>	<p>▽H27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(久)医療介護連携支援の相談員1人と連携した事業を実施。</li> <li>・(浮)(大)医師会に専任職員1人配置。</li> <li>・(小)体制等協議。</li> <li>・支援センターの機能・役割や体制について医師会、関係市町と調整。</li> </ul> <p>▽H28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(久)(浮)(大)医療介護連携支援の相談員1人と連携した事業を実施。</li> <li>・(小)体制等協議。</li> <li>・支援センターの機能・役割や体制について医師会、関係市町と調整。</li> </ul> <p>▽H29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(久)(浮)(大)支援センターの設置・運営に向けた具体的な協議。</li> <li>・(小)4月に医師会に専任職員1人配置、支援センターの設置・運営に向けた具体的な協議。</li> <li>・支援センターの機能・役割や体制について医師会、関係市町と調整。</li> </ul> <p>※(久)久留米医師会、(浮)浮羽医師会、(小)小郡三井医師会、(大)大川三瀧医師会</p>			
<p>指標 達成状況</p>		<p>H27</p>	<p>H28</p>	<p>H29</p>
<p>事業進捗目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療相談窓口での市民からの相談受付</li> <li>・「在宅医療・介護連携支援センター(仮称)」の設置に向けた協議</li> </ul>			
<p>実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療相談窓口での市民からの相談受付</li> <li>・「在宅医療・介護連携支援センター(仮称)」の設置に向けた協議</li> </ul>			
<p>事業の評価</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年4月からの相談支援拠点(在宅医療・介護連携支援センター(仮称))整備に向けた具体的な調整が進んだ。</li> </ul>		

在宅医療・介護連携に向けた情報共有の支援

【保健所健康推進課】

<p>事業内容</p>	<p>在宅医療と介護の連携を円滑化するための情報共有ツールの導入について医師会等と連携・協議しながら検討等を行う。</p>
-------------	---

第6期 実施状況	▽H27年度 ・県及び県医師会の取組み状況についての情報収集。			
	▽H28年度 ・退院調整ルールの方策。 ・県及び県医師会の取組み状況についての情報収集。			
指標 達成状況		H27	H28	H29
	事業進捗目標	情報収集及び導入に向けた協議・調整等		
事業の評価	A	情報収集	退院調整ルール 策定	退院調整ルール 策定
		<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との間で情報共有のルールを策定し、入退院時における在宅医療・介護連携の推進を図った。</li> <li>県及び県医師会の取組み状況について情報収集ができた。</li> </ul>		

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進・関係者の研修 【保健所健康推進課】				
事業内容	地域の医療・介護サービス関係者を対象とした各種研修会を実施し、課題の共有化や従事者のスキルアップを図るとともに関係機関の理解や協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と介護が一体的に提供される体制の構築に取り組む。			
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療と介護の連携を図る研修会・交流会や、在宅医療を提供する仕組みづくりを進めるための実地研修等を実施した。</li> <li>在宅医療提供体制の構築へ向けた先進地事例等の情報収集を行った。</li> </ul>			
		H27年度	H28年度	
	在宅医療従事者研修会	延べ参加者数 562 人 (全 5 回)	各医師会にて実施	
	医療介護交流会	参加者 313 人(全 7 回)	参加者 212 人(全 3 回)	
	多職種リーダー研修	参加者 131 人(全 2 回)	各医師会にて実施	
	病院医師等の理解促進	同行訪問 3 回 参加者数 55 人	各医師会にて実施	
指標 達成状況		H27	H28	H29
	事業進捗目標	各種研修会の実施		
	実績	体制構築の情報 収集、研究等	体制構築に向けた関係機関との協 議・調整等	研修会の実施 関係機関協議
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会、交流会、実地研修などを実施し、医療と介護の連携や在宅医療を提供する仕組みづくりに寄与した。</li> <li>先進地事例等の情報収集を行うとともに、退院調整ルール策定の取組みの中で、病院スタッフやケアマネジャーとの意見交換を行い、切れ目のない提供体制の構築が進んだ。</li> </ul>		



地域住民への普及啓発		【保健所健康推進課】		
事業内容	在宅医療・介護サービスに関する講演会の開催などの実施により、市民への在宅医療・介護連携に関する理解の促進を図る。			
第6期 実施状況	・市民が終末期を送る場所の選択肢の一つとして在宅を考えられるようになることを目的とした市民公開講座や出前講座を実施した。			
		H27年度	H28年度	
	市民公開講座	参加者 141人	参加者 148人	
	出前講座	2回実施、参加者 42人	3回実施、参加者 73人	
指標 達成状況		H27	H28	H29
	事業進捗目標	市民公開講座、出前講座の実施		
	実績	公開講座 1回	市民公開講座、 出前講座	市民公開講座、 出前講座
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の会合等に出向いて出前講座を実施するなど、市民への在宅医療・介護連携に関する理解の促進を図った。</li> <li>・在宅医療・介護連携に関する理解を市民へ広めるため、さらなる普及啓発に取り組む必要がある。</li> </ul>		

在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携		【保健所健康推進課】		
事業内容	二次医療圏内の病院から退院する事例等に関し、退院後の円滑な在宅医療・介護サービスの提供や、その連携・情報共有の方法等について、関係自治体による協議や調整等を行う。			
第6期 実施状況	▽H27～28年度			
	・在宅医療・介護連携推進事業を医師会（久留米医師会、浮羽医師会、小郡三井医師会、大川三潞医師会）と協働で推進するため、医師会との調整・協議を行うとともに、関係する周辺市町（うきは市、小郡市、大刀洗町、大川市、大木町）と調整・協議を行った。			
	▽H29年度			
	・引き続き、関係する医師会、周辺市町との調整、協議を実施。			
指標 達成状況		H27	H28	H29
	事業進捗目標	情報収集、協議・調整		
	実績	情報収集	協議・調整	協議・調整
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会や関係する周辺市町（うきは市、小郡市、大刀洗町、大川市、大木町）と調整・協議を行い、在宅医療・介護連携推進事業の推進のための連携が進んだ。</li> </ul>		

## この章の評価

### (1) 地域包括支援センターの機能の充実・強化

地域包括ケアシステムの構築における中核的機関である地域包括支援センターについて、11全ての日常生活圏域にセンターの整備が完了する見込みであり、地域住民の心身の健康の保持や生活の安定へ向けた支援の充実を図った。

### (2) 地域ケア会議の推進

高齢者の抱える個別の課題や地域共通の課題について、関係機関等及び市が地域ケア会議において検討し、解決へ向けて取り組んだ。また、全市的な地域ケア会議を設置し、地域課題を市の政策形成へつないでいる。今後も、関係機関等と連携・協力し、会議の推進に取り組んでいく。

### (3) 在宅医療・介護連携の推進

在宅医療・介護連携推進協議会を設置・開催し、課題の抽出や対応策について検討を進めるとともに、在宅医療・介護連携を円滑にするためのツールとして退院調整ルール策定及び試行運用に取り組んだ。また、相談支援拠点である「在宅医療・介護連携支援センター（仮称）」の平成30年4月からの設置に向けた具体的な調整を行った。今後は、地域への医療・介護サービスに係る関係機関への調査により把握した社会資源の公開手法等の検討や在宅医療・介護連携に関する理解を市民へ広めるため、出前講座等を通じたさらなる普及・啓発に取り組む必要がある。

## 第5章 認知症施策の推進

### 【施策の方向性】

今後高齢化の進展に伴い認知症の人が増加することが予測されるため、これまで以上に地域全体で支えていく必要がある。本人のケアや介護する家族等への支援に努めるとともに、すべての人が認知症への理解を深め、自らの問題として認識し、高齢者の尊厳が保持される環境を整備する。

### (1) 認知症に関する普及・啓発

認知症講演会の開催		【長寿支援課】			
事業内容	<p>認知症の予防・早期発見・早期対応の必要性や地域で認知症の人やその家族を支援する取り組みなどをテーマに、市内3地域において講演会を開催する。</p> <p>また、隔年で認知症シンポジウムを開催し、市内全域において認知症の普及・啓発を図る。</p> <p>※平成27年度と平成29年度は認知症シンポジウムを開催。</p>				
第6期 実施状況	▽H27～28年度				
		H27年度	H28年度		
	認知症予防地域講演会	参加者 200人 (市内3地域)	参加者 430人 (市内5地域)		
	認知症シンポジウム	参加者 400人	※隔年開催のため実績なし		
	▽H29年度				
	・市内5地域において認知症予防地域講演会を実施する。				
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	認知症講演会 参加者数	人	目標値	700	250
			実績値	600	430
			達成度 (%)	85.7	172.0
事業の評価	A	・事業の周知方法等を見直したことで参加者も増え、市民への認知症の普及が着実にできた。			

認知症ケアパスの作成・普及		【長寿支援課】	
事業内容	<p>認知症の人やその家族が、認知症と疑われる症状が発生した場合に、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスを受ければよいかといった、認知症の人の容態に応じた標準的なサービス提供の流れを示す「認知症ケアパス」(パンフレット等)の作成・普及に取り組む。</p>		

第6期 実施状況	▽H27年度 ・関係機関で構成される「久留米市認知症施策普及・啓発検討委員会」をH27年8月に設置し、認知症支援ガイドブックの内容や活用方法等について検討した。(全4回) ・認知症支援ガイドブックを20,000部作成した。 ▽H28年度 ・認知症の人や家族の支援者(医療機関、介護事業所、民生委員等)へ配布した。 ・出前講座や認知症サポーター養成講座等での普及啓発に努めた。 ▽H29年度 ・引き続き認知症支援ガイドブックの普及・啓発に努める。			
		H27	H28	H29
指標 達成状況	事業進捗目標	認知症ケアパス 作成	認知症ケアパス 随時更新・普及	
	実績	認知症ケアパス 作成	4,000部増刷	
事業の評価	A	・認知症支援ガイドブックの作成・配布により、認知症の早期対応の重要性を有効に啓発できた。		

## (2) 認知症の人やその家族への支援

認知症地域支援推進員の配置		【長寿支援課】
事業内容	医療機関や介護サービス事業者、認知症サポーターなどの地域において認知症の人を支援する関係者間の連携を図るための支援や、認知症の人やその家族からの相談に応じる、認知症地域支援推進員(認知症に関する知識を有する専門職)を配置し、認知症に関する相談体制の強化を行う。	
第6期 実施状況	▽H27年度 ・中央、東、西、南、北の各圏域の地域包括支援センターに1人ずつ、認知症地域支援推進員を配置した。 ・認知症地域支援推進の具体的な活動内容について検討を行った。 ▽H28年度 ・認知症地域支援推進員を3名増員した。 ・認知症の早期発見へ向け、出前講座において認知症支援ガイドブックを配布した。 ・「ものわすれ相談会」や関係団体との協働による交流会の開催により、身近に相談できる場を設けた。 ・久留米市民公開講座シンポジウム2017において、モデル的に声掛け訓練を実施した。 ▽H29年度 ・認知症地域支援推進員をさらに3名増員する。 ・「認知症の方への声掛け訓練」の地域展開に向けたマニュアルを作成している。 ・「ものわすれ相談」や「ものわすれ予防検診」に参加し、医療機関の受診が必要な方等への継続した支援に努める。	

指標 達成状況	事業進捗目標	H27	H28	H29	
		認知症地域支援推進員の配置総数			
		5人	9人	11人	
実績		5人	8人	11人	
事業の評価	A	・認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに配置することで、高齢者の総合相談窓口体制を強化できた。			

認知症初期集中支援チームの設置		【長寿支援課】						
事業内容	<p>受診拒否等がみられ、適切な医療・介護サービスにつながない人に対し、家庭訪問、アセスメントを行った上で、家族支援などを包括的・集中的に行い、適切なサービスにつなげる『認知症初期集中支援チーム』を設置する。</p>							
第6期 実施状況	<p>▽H27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認知症初期集中支援チームの設置場所やチーム編成、活動内容等について、関係機関等との意見交換を行った。(全3回)</li> </ul> <p>▽H28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援対象者への訪問を実施した。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>対応事例</td> <td>9事例</td> </tr> <tr> <td>訪問、電話対応、関係機関との調整</td> <td>延166回</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>認知症初期集中支援チーム検討委員会を開催した。(1回)</li> <li>講演会等での活動報告</li> </ul> <p>▽H29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援対象者への訪問を実施している。</li> <li>認知症初期集中支援チーム検討委員会を開催する。(3回予定)</li> </ul>				対応事例	9事例	訪問、電話対応、関係機関との調整	延166回
対応事例	9事例							
訪問、電話対応、関係機関との調整	延166回							
指標 達成状況	事業進捗目標	H27	H28	H29				
		設置場所や認知症ホト医の養成等、医師会をはじめとした関係機関と協議を行う	初期集中支援チームの設置 1チーム					
		実績	協議を実施	1チーム	1チーム			
事業の評価	A	・予定通りに認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の早期診断・早期対応に向けた体制の構築を図ることができた。						

認知症ケア向上推進事業

【長寿支援課】

事業内容	介護サービス事業所のケアスタッフ等を対象とした、認知症の人への支援方法についての研修の開催や、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場である『(仮称) 認知症カフェ』のあり方の検討を行うなど、認知症高齢者が尊厳をもってケアを受けられる環境を整備する。													
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービス事業所の管理者や職員を対象に、認知症の正しい理解と適切なケアのあり方について研修を行った。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="416 551 1182 689"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27 年度</th> <th>H28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理者向け研修</td> <td>32 人</td> <td>35 人</td> </tr> <tr> <td>初任者向け研修</td> <td>32 人</td> <td>10 人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>※H28 年度から「介護サービス事業者支援事業」へ統合（「介護人材の育成・定着支援事業」参照）</li> <li>認知症カフェを運営している関係団体等と、当事者としてのニーズや活動にあたっての考え方や課題等について意見交換をした。</li> </ul>						H27 年度	H28 年度	管理者向け研修	32 人	35 人	初任者向け研修	32 人	10 人
	H27 年度	H28 年度												
管理者向け研修	32 人	35 人												
初任者向け研修	32 人	10 人												
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28									
	ケアスタッフ 研修会参加者数	人	目標値	100	100									
			実績値	64	—									
			達成度 (%)	64.0	—									
事業の評価	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修参加者が目標に届かず、介護サービス事業所職員等に対する適切なケア等の啓発が十分できなかった。</li> <li>認知症カフェについて、関係団体等との意見交換を通じ、カフェの機能や今後の支援のあり方についての検討が進んだ。</li> </ul>												

ものわすれ相談

【長寿支援課】

事業内容	認知症高齢者や認知症高齢者を介護する家族、また、認知症の不安を抱く高齢者本人やその家族に、認知症に関することから介護保険サービス、医療機関、地域資源の紹介・助言等、窓口と電話により相談に対応し支援する。 また、治療の必要が認められる場合は、専門医療機関の紹介や連携をすることにより、認知症の早期発見・対応につなげ、重症化を防ぐことでその人らしい生活の継続を図る。
------	--

第6期 実施状況	▽H27～28年度				
		H27	H28	H29	
	相談件数	37	22	6	
	※H29年度は6月末時点				
	▽H29年度				
	・引き続き認知症等に関する相談に窓口及び電話で対応し、支援する。				
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
			達成度 (%)	—	—
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものわすれの自覚のある方や介護負担の大きい家族を支援することができた。</li> <li>・相談利用者数が減少傾向にあるため、関係機関と実施方法について検討する必要がある。</li> </ul>			

ものわすれ予防検診		【長寿支援課】			
事業内容	久留米大学との協働により、軽度認知症（MCI）の高齢者の早期発見を目的とした『ものわすれ予防検診』を実施し、早期治療につなげることで認知症の重症化予防を図る。				
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、軽度認知症の早期発見のための検診を実施した。</li> <li>・検診参加者を、必要に応じ久留米大学病院のもの忘れを診療・診断する専門窓口での受診につなげた。</li> </ul>				
		H27年度	H28年度	H29年度	
	参加者数	88人	88人	36人	
	うち認知症疑い	38人	30人	8人	
	うち専門窓口受診	22人	9人	2人(受診勧奨)	
	※H29年度は6月末時点				
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	受診者数	人	目標値	95	95
			実績値	88	88
			達成度 (%)	92.6	92.6
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との協力のもと、認知症の早期発見・早期治療へつなげることができた。</li> </ul>			

(3) 地域での支え合い体制づくり

認知症サポーター、キャラバン・メイトの養成		【長寿支援課】			
事業内容	認知症について正しく理解し、地域において認知症の人やその家族を見守り支える「認知症サポーター」を養成する。また、地域・職域団体等において「認知症サポーター」の講師役となる「キャラバン・メイト」を養成する。				
第6期 実施状況	▽認知症サポーター養成実績				
		H27年度	H28年度	H29年度	
	講座開催回数	128回	112回	21回	
	養成人数	5,489人	4,377人	457人	
	※H29年度は6月末時点				
	▽キャラバン・メイト養成実績				
	H27年度	H28年度	H29年度		
講座開催回数	1回	0回	10月開催予定		
養成人数	69人	0人			
※H26年度から隔年開催					
※H29年度は6月末時点					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	認知症サポーター 養成人数（累計）	人	目標値	13,000	16,000
			実績値	16,387	20,675
			達成度（%）	126.1	129.2
事業の評価	A	・認知症サポーターは毎年順調に養成できており、認知症に対する市民の正しい理解が着実に広がっている。			

SOSネットワーク事業		【長寿支援課】			
事業内容	<p>認知症等による徘徊高齢者の捜索願が警察に出された場合に、各協力団体との連携や福岡県の防災メール「まもるくん」をはじめとしたネットワークを活用し、認知症等による徘徊高齢者の速やかな発見・保護に取り組む。</p> <p>また、警察に保護された徘徊高齢者等を速やかに家族のもとへ送り届けるため、「徘徊高齢者等あんしん登録制度」を推進する。</p>				



第6期 実施状況	▽H27～29年度				
		H27年度	H28年度	H29年度	
	SOS ネットワークを利用した行方不明 高齢者捜索件数	10件	25件	13件	
	福岡県防災メール「まもるくん」 登録者数（久留米市在住）	6,514人	6,577人	6,990人	
	高齢者等あんしん登録制度登録件数	50件	59件	12件	
	※H29年度は6月末時点				
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	あんしん登録制度 新規登録者数	人	目標値	30	30
			実績値	50	59
達成度（%）			166.7	196.7	
事業の評価	A	・ネットワーク構成団体等との連携により、行方不明高齢者等の速やかな発見・保護につなげることができた。			

### この章の評価

#### （1）認知症による普及・啓発

認知症シンポジウムや認知症予防地域講演会の開催、認知症ガイドブックの作成・配布により、認知症についての正しい理解を広げることができた。

#### （2）認知症の人やその家族への支援

認知症地域支援推進員による認知症の人やその家族等からの相談に応じる体制の強化や、認知症初期集中支援チームによる認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制の整備のほか、ものわすれ相談及びものわすれ予防検診の実施に取り組むことで、認知症の人やその家族への支援の充実を図ることができた。介護サービス事業所職員等に対する研修の参加者数が目標に及ばなかった。

#### （3）地域での支えあい体制づくり

認知症サポーターの養成やSOSネットワークの取り組みにより、認知症の人等を地域で見守り支える体制づくりが進んだ。今後、サポーター養成研修修了者数を拡大するだけでなく、習得した知識を生活の場で活かせるような取り組みを進める必要がある。

## 第6章 高齢者の権利擁護

### 【施策の方向性】

高齢者やその家族に対し、権利擁護の推進や法律行為に関する支援など、必要な援助を行うことにより、生活の質が向上し、安全で安心な生活ができるよう支援策の促進に努める。

### (1) 成年後見制度の普及

成年後見・相談事業		【長寿支援課】			
事業内容	講演会や出前講座の開催を通して成年後見制度の普及・啓発を行うとともに、制度に関する相談や利用支援を行うことで、制度を必要とする高齢者等の権利擁護の促進を図る。				
第6期 実施状況	▽H27～28年度 ・成年後見制度の市長申立てや申立てに係る費用及び後見人に対する報酬補助を行った。 ・成年後見制度への理解を促すための講演会を開催した。				
		H27年度		H28年度	
	市長申立て件数	13件		13件	
	申立て費用・後見人への報酬補助	・申請4件（うち補助3件） ・補助金額 188千円		・申請6件（うち補助3件） ・補助金額 416千円	
	制度の普及・啓発のための講演会	参加者 25人		参加者 15人	
※H28年度より、成年後見制度利用支援事業で実施。					
▽H29年度 ・申立て件数：10件 ・申立て費用・後見人への報酬補助：申請6件のうち、5件補助。 ・制度の普及・啓発のための講演会を開催予定。					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
		達成度（%）	—	—	
事業の評価	B	・市民向けの講演会を実施し、制度の普及・啓発に努めた。 ・補助事業について、専門職団体をはじめ、家庭裁判所等に周知を行う必要がある。			

成年後見推進事業		【長寿支援課】			
事業内容	<p>認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分となった人が成年後見制度を適切に利用できるよう、関係機関と連携しながら成年後見センターの運営に取り組む。</p> <p>また、市民が後見業務の新たな担い手として活動できるよう支援する。</p>				
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見センターを運営し、制度についての相談対応や制度利用の際の支援を行った。</li> <li>・市民や介護サービス事業者を対象として、成年後見制度の普及・啓発に関する講演会を開催した。(成年後見普及啓発事業)</li> <li>・市民後見人候補者を対象として、後見人になったときの際に必要な知識等について学ぶ講座を実施した。(市民後見人活動支援事業)</li> </ul>				
		H27 年度	H28 年度		
	成年後見センター新規相談件数	311 件	149 件		
	成年後見普及啓発事業参加者	139 人	132 人		
	・市民向け (4 回)	122 人	110 人		
	・介護サービス事業所職員向け (1 回)	17 人	22 人		
	市民後見人活動支援事業参加者	136 人	117 人		
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
			達成度 (%)	—	—
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の案内や申立ての支援を行う機関として、関係機関等にセンターの周知が進んだ。</li> <li>・個人受任の実現に向け、市民後見人のスキルアップ及び受任への仕組みづくりを検討する必要がある。</li> </ul>			

## (2) 虐待防止及び対応へのネットワーク構築

地域包括支援センター総合相談、権利擁護事業		【長寿支援課】	
事業内容	<p>高齢者やその家族からの医療・介護・保健・福祉等に関する相談をはじめ、虐待などの高齢者の権利擁護に関する相談を総合的に実施し、必要に応じて各専門機関と連携して課題解決に向けた支援を行う。</p>		

第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターにおいて高齢者等からの介護に関する相談や健康・福祉、医療や生活に関することをはじめ、虐待などの権利擁護に関する相談等、さまざまな相談に対応し、適切な機関等につなぐなどの支援を行った。</li> </ul>				
			H27年度	H28年度	
	総合相談件数（延べ）		23,469件	22,672件	
	総合相談件数（実）		4,596件	4,710件	
	虐待通報・相談件数		102件	96件	
	うち虐待認定件数		73件	64件	
	うち終結件数		51件	41件	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養介護施設従事者等による虐待に関する通報・相談への対応を行った。</li> </ul>				
			H27年度	H28年度	
	虐待通報・相談件数		8件	10件	
うち虐待認定件数		5件	3件		
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
			達成度（%）	—	—
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターにおいて、様々な相談に対応し、虐待案件についても、関係機関等と連携し、適切な支援につなげることができた。</li> <li>・養介護施設従事者等による虐待について、通報から解決に向けた対応をより迅速に行う必要がある。</li> </ul>			

高齢者虐待防止推進		【長寿支援課】
事業内容	<p>高齢者とその家族等に対し高齢者の虐待に関する相談・支援などの対応を行うとともに、養介護施設職員や民生委員、市民に対して高齢者虐待防止のための研修会の実施等の啓発事業を行うことで、高齢者の権利擁護の推進と養護者への支援を図る。また、セーフコミュニティを推進する上で、「高齢者の安全」の分野における重点項目である「虐待防止」に取り組む。</p>	

第6期 実施状況	・高齢者の虐待に関する通報・相談への対応及び支援を行った。				
		H27年度	H28年度		
	虐待通報・相談件数	102件	96件		
	うち虐待認定件数	73件	64件		
	うち終結件数	51件	41件		
	・養介護施設従事者等による虐待に関する通報・相談への対応を行った。				
		H27年度	H28年度		
	虐待通報・相談件数	8件	10件		
	うち虐待認定件数	5件	3件		
	・養介護施設職員や民生委員、市民に対して、高齢者虐待防止のための研修会を実施した。				
	H27年度	H28年度			
市民向け虐待防止啓発講座	151人	65人			
養介護施設従事者向け研修参加者数	346人 (対象事業所数 626)	273人 (対象事業所数 652)			
指標 達成状況	指標の内容	単位	H27	H28	
	虐待発生率 (発生件数/高齢者人口)	%	目標値	0.09	0.08
			実績値	0.09	0.08
			達成度(%)	100	100
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待案件に対し、関係機関等と連携し被虐待者のみならず、養護者の支援も行った。</li> <li>・市民向け講座や出前講座、養介護施設従事者向け研修を通じて、虐待防止の普及・啓発に努めた。</li> </ul>			

### (3) 高齢者の権利擁護等に関する相談支援

消費者被害の防止と救済		【消費生活センター】
事業内容	<p>多種、多様化する消費者被害の未然防止・早期発見を図るため、「出前講座」「くらしのカレッジ」等の事業を展開し、消費者の知識向上の一助とするための機会を提供する。また、被害者となった市民に対しても、早急に解決に導くための的確な相談対応と消費生活センターの認知度向上に努める。</p>	

第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多種・多様化する消費者被害の未然防止・早期発見を図るため、出前講座などの啓発事業を実施した。</li> <li>・消費生活に関するさまざまな相談に弁護士が対応する無料相談事業を実施した。</li> <li>・消費被害の防止及び救済を目的とした街頭啓発を実施した。</li> </ul>				
		H27年度		H28年度	
	出前講座参加者数	4,080人(76回)		3,005人(77回)	
	くらしのカレッジ参加者数	424人(13回)		416人(12回)	
	金融経済講演会参加者数	114人		148人	
	弁護士無料相談件数	80件(24回)		97件(24回)	
	街頭啓発実施回数	9回		9回	
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	講座受講者数	人	目標値	2,000	2,000
			実績値	4,080	3,005
			達成度(%)	204.0	150.3
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな啓発講座等の開催により、多種・多様化する消費者被害の未然防止・早期発見に寄与した。</li> </ul>			

高齢者相談事業		【広聴・相談課】			
事業内容	<p>高齢者の日常生活での困りごとや心配事の早期解決に向けて、各種支援制度や窓口等の情報の収集・活用を行い、関係部局との連携した相談事業を実施する。</p>				
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の日常生活における困りごと等に対応し、各種支援制度や窓口等につなげた。</li> </ul>				
		H27年度	H28年度	H29年度	
	高齢者からの相談件数	200件	298件	75件※	
※H29年度は6月末時点					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
			達成度(%)	—	—
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の日常生活での困りごとや心配事を傾聴し、多様化する問題にも関係部局と連携しながら、概ね対応できた。</li> <li>・より適切な対応ができるよう情報収集に努める必要がある。</li> </ul>			

女性のための生き方支援相談		【男女平等推進センター】			
事業内容	虐待・DV等の深刻な事案を含むさまざまな問題を抱える高齢の女性に対し、問題の解決に向けて、「相談関係機関ネットワーク会議」における各関係機関の連携の下に相談事業を実施し、本人への支援を行う。				
第6期 実施状況	・虐待やDV等さまざまな問題を抱える女性からの相談に対応し、支援を行った。 ▽事業実績（60歳以上の相談件数）				
		H27年度	H28年度	H29年度	
	総合相談	816件	665件	160件	
	性暴力相談	2件	2件	0件	
	法律相談	15件	6件	7件	
※平成29年度は7月末時点					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	-	-	目標値	-	-
			実績値	-	-
			達成度 (%)	-	-
事業の評価	A	・広報くまめやホームページへの掲載や、関係課や関係機関との連携協力による施設等へのDVカード・性暴力被害者支援カードの設置、講座・会議等での相談窓口の周知により、相談・支援につなげることができた。			

日常生活自立支援事業		【久留米市社会福祉協議会】			
事業内容	認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分なため、日常生活で支障のある人に対し、福祉サービスの利用や日常の金銭管理等のサービスを提供することで、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援する。				
第6期 実施状況	・認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分なため、日常生活で支障のある人に対し、福祉サービスの利用や日常の金銭管理等のサービスを提供した。				
		H27年度	H28年度	H29年度	
	利用者数	110名	124名	125名	
	うち認知症高齢者	70名	74名	72名	
※H29年度は5月末時点					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	-	-	目標値	-	-
			実績値	-	-
			達成度 (%)	-	-

事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設や関係団体等を中心に事業利用者の掘り起こしを行った。</li> <li>・事業利用者の拡大のみならず、計画的に利用者のモニタリングを行い、必要に応じて、成年後見センターとの連携による成年後見制度利用へとつなげた。</li> </ul>
-------	---	---

### この章の評価

#### (1) 成年後見制度の普及

市民向け講座による制度の普及・啓発を図るとともに、成年後見センターの開設により、総合的な相談受付等に対応できる体制を整備できた。しかし、同センターの相談件数は減少傾向にあるため、市民や関係機関へのさらなる周知を進める必要がある。また、個人受任に向けた市民後見人候補者のスキルアップや受任への仕組みづくりに努める必要がある。

#### (2) 虐待防止及び対応へのネットワーク構築

市民向け講座や出前講座、養介護施設従事者向け研修を通じ、虐待防止の普及・啓発を進めた。また、養護者による虐待について、関係機関と連携し、適切な支援につなげることができた。

#### (3) 高齢者の権利擁護等に関する相談支援

消費者被害やDVに関する相談等への適切な支援や日常生活自立支援事業の実施により、権利擁護における相談支援の充実に努めた。



## 第7章 生活環境の整備

### 【施策の方向性】

高齢者がいつまでも在宅での生活を継続できるように、安全で暮らしやすい生活環境の整備が必要であり、高齢者の生活に適した住宅や居住系施設の整備、外出支援といった施策に取り組み、高齢者にやさしいまちの実現に努める。

### (1) 高齢者が安心して暮らせる住居等の整備

市営住宅のバリアフリー化		【住宅政策課】				
事業内容	高齢者や障害者をはじめとした全ての人が安心して暮らし続けられるよう、市営住宅の新築や建替、リフォームによる段差解消、手すり・エレベーターの新設等のバリアフリー化を推進する。					
第6期 実施状況	▽H27年度 ・市営住宅の新築や建て替え、リフォームによる段差解消、手すり・エレベーターの新設等のバリアフリー化を行った。					
	建替事業によるバリアフリー化対応住宅の整備		3棟 154戸			
指標 達成状況	指標の内容		単位	H27	H28	
	新築市営住宅 (バリアフリー) 完成		戸	目標値	154	未設定
				実績値	154	—
				達成度 (%)	100.0	—
事業の評価	B	・建替事業によるバリアフリー対応住宅の整備を予定通り実施し、市営住宅のバリアフリー化を推進できた。				

一人暮らし高齢者の住宅確保支援		【住宅政策課】		
事業内容	住宅の確保が難しい一人暮らし高齢者の住宅確保を支援するため、単身者向けの市営住宅の募集を実施し、生活基盤の柱となる「住まい」の安定した提供を行う。			
第6期 実施状況	・単身者向けの市営住宅について入居募集を行っている。			
	▽H27～29年度			
		H27年度	H28年度	H29年度
	定期募集分	20戸入居	18戸入居	13戸募集
随時募集分	15戸入居	13戸入居	17戸募集	
※H29年度は6月末時点				

指標 達成状況	指標の内容		単位	H27	H28	
	単身者向け市営 住宅募集戸数		戸	目標値	30	30
				実績値	35	31
				達成度 (%)	116.7	103.3
事業の評価	A	・単身者向け住宅を優先的に整備し、住まいの安定した提供ができた。				

地域優良賃貸住宅の整備						【住宅政策課】
事業内容	子育て世帯、高齢者世帯や障害者世帯等の居住の安定と中心市街地の居住推進を図るため、賃貸住宅の建設費の一部を助成し、民間事業者等による良質な賃貸住宅の供給を促進する。(平成 27 年度の住生活基本計画見直しに伴い、事業内容の見直しを図る)					
第 6 期 実施状況	▽H27～28 年度 ・地域優良賃貸住宅の整備事業者を募集したものの、応募が無かった。 ▽H29 年度 ・地域優良賃貸住宅の整備事業者を募集している。 ・立地適正化計画に基づく対象エリアや補助メニューを見直す。					
指標 達成状況	指標の内容		単位	H27	H28	
	-		-	目標値	-	-
				実績値	-	-
				達成度 (%)	-	-
事業の評価	C	・現行制度では整備事業者の応募が無い場合、事業目的やニーズを踏まえた制度の見直しが必要である。				

サービス付き高齢者向け住宅						【住宅政策課】
事業内容	高齢者の居住の安定を図るため、バリアフリー構造等を有し、緊急時対応・安否確認、生活相談等のサービスを提供する「サービス付き高齢者向け住宅」についての情報提供を行うとともに、入居者の安全・安心の確保のため、適正な管理・運営へ向けた指導・助言を行う。					
第 6 期 実施状況	▽H27～29 年度 ・サービス付き高齢者向け住宅として登録された施設について、住まいの相談窓口やホームページなどで情報提供を行った。 ・定期の管理状況報告に基づき、指導及び助言を行った。 ・立ち入り調査による指導及び助言を行う。					

指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
			達成度 (%)	—	—
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス付き高齢者向け住宅の情報提供や、事業者に対する適切な指導・助言を実施し、入居者の安全・安心を確保することができた。</li> </ul>			

有料老人ホーム		【長寿支援課】											
事業内容	<p>高齢者のための良質な住まいの確保を図り、入居者が安全・安心に過ごすことができる環境を整備するため、食事の提供や生活相談等のサービスを提供する「有料老人ホーム」の情報提供、適正な管理に向けた指導・助言を行う。</p>												
第6期 実施状況	<p>▽H27～29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市の指針に基づいた適切な運営が確保されるよう、有料老人ホームに対し立入検査を実施した。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立入検査実施施設数</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>5件予定</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H28年度はサービス付き高齢者向け住宅2件にも実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福岡県との共催により、H28年度から市内全施設を対象とした集団指導を実施し、立入検査を補完している。</li> <li>関係機関との連携のもと、4件の無届施設を把握した。(H28年度末時点)</li> <li>有料老人ホームとして届け出された施設について、ホームページにおいて情報提供を行った。</li> <li>市の指導指針に基づき、適宜施設に対し指導・助言を行っている。</li> </ul>						H27年度	H28年度	H29年度	立入検査実施施設数	5件	5件	5件予定
		H27年度	H28年度	H29年度									
立入検査実施施設数	5件	5件	5件予定										
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28								
—	—	目標値	—	—									
		実績値	—	—									
		達成度 (%)	—	—									
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の指導指針の改定や集団指導の実施などにより、施設への指導を強化し、入居者が安全・安心に過ごすことができる環境を整備できた。</li> </ul>											

高齢者住宅改造費の補助		【介護保険課】			
事業内容	要介護認定を受けた高齢者の自立支援及び日常生活の利便性の向上や、介護者の負担軽減を図るため、住宅改造費用の一部を助成する。				
第6期 実施状況	▽H27～29年度				
		H27年度	H28年度	H29年度	
	補助件数	6件	5件	4件	
	補助額	1,487千円	1,449千円	1,011千円	
※H29年度7月末時点					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	-	-	目標値	-	-
			実績値	-	-
			達成度(%)	-	-
事業の評価	A	・住宅改造を支援することで、低所得の高齢者の自立支援及び在宅での安心した生活に寄与できた。			

## (2) ユニバーサルデザインのまちづくり

ユニバーサルデザインの視点から公共施設等の整備、バリアフリー化		【建築課】			
事業内容	高齢者や障害者をはじめとしたすべての人が、安全で快適に利用できるよう、多目的トイレの設置、段差の解消、滑りにくい床材の使用、手すりの設置等、ユニバーサルデザインの視点から、公共施設等の整備、バリアフリー化に取り組む。				
第6期 実施状況	▽H27～28年度				
		H27年度	H28年度		
	内部改修工事	5件	3件		
	新築工事	9件	7件		
▽H29年度					
・引き続き公共施設等の整備及びバリアフリー化に取り組む。					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	-	-	目標値	-	-
			実績値	-	-
			達成度(%)	-	-
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新築工事において、関連条例等に基づき公共施設等の整備を行い、バリアフリー化を進めることができた。</li> <li>・既存建築物によっては望ましいバリアフリー化の基準を満たし難いものもあり、十分に整備できないこともあった。</li> </ul>			

歩道のバリアフリー化		【道路整備課】												
事業内容	高齢者や障害者をはじめとしたすべての人が、移動の際に利便性及び安全性が確保されるようバリアフリー対策を推進することで、安全で快適に通行できる空間を「バリアフリー歩行空間ネットワーク整備事業新10箇年実施計画書」に基づき整備する。													
第6期実施状況	▽H27～29年度 <table border="1"> <tr> <td>H27年度</td> <td>道路改良工事1路線</td> <td>歩道改良工事2路線</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>道路改良工事1路線</td> <td>歩道改良工事1路線</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td colspan="2">歩道改良工事1路線（予定）</td> </tr> </table> ※H29年度は6月末時点					H27年度	道路改良工事1路線	歩道改良工事2路線	H28年度	道路改良工事1路線	歩道改良工事1路線	H29年度	歩道改良工事1路線（予定）	
H27年度	道路改良工事1路線	歩道改良工事2路線												
H28年度	道路改良工事1路線	歩道改良工事1路線												
H29年度	歩道改良工事1路線（予定）													
指標達成状況	指標の内容	単位		H27	H28									
	整備路線	路線	目標値	3	1									
			実績値	3	2									
達成度（%）			100.0	200.0										
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画通りに目標を達成し、バリアフリー化を図ることができた。</li> </ul>												

公共交通のバリアフリー化		【交通政策課】			
事業内容	高齢者や障害者をはじめとしたすべての人が、安全・快適で安心して暮らせる交通体系をつくるため、誰もが乗降しやすいノンステップバスの導入支援等を行い、人にやさしい交通サービスの提供に努める。				
第6期実施状況	▽H27～29年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>ノンステップバスの導入へ向け、交通事業者と継続的に協議を行ってきた。</li> <li>H29年度に1台導入に向けて継続的に協議を行っている。</li> </ul>				
指標達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	ノンステップバス新規導入台数	台	目標値	1	1
			実績値	0	0
達成度（%）			0.0	0.0	
事業の評価	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事業者の運営面等への影響を踏まえ、当初の予定通りの導入が困難であった。</li> <li>今後、ノンステップバスの導入により、高齢者等が安心して路線バスを利用できる環境づくりに寄与する。</li> </ul>			

タウンモビリティ事業		【商工政策課】			
事業内容	高齢者や障害者等を対象として送迎や介添を行い、また、車いすや電動スクーター、ベビーカー等の貸し出しを行う等、中心市街地への外出や買い物、まちあるき等をサポートする。				
第6期 実施状況	▽H27～29年度				
	タウンモビリティの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎、買物・活動介助 (H27年度 152回、H28年度 153回)</li> <li>・車椅子、スクーター等の無料貸し出し</li> </ul>			
	イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花見、クリスマス会等</li> </ul>			
	チラシの作成・配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度 18,000部</li> <li>・H28年度 18,000部</li> </ul>			
	ボランティアスタッフ等への研修、視察				
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
			達成度 (%)	—	—
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎や介添に加え、車椅子等の貸し出しを行い、中心市街地への外出や買い物のサポートに寄与できた。</li> <li>・H27年度以降、利用者が減少している状況を踏まえ、新たな利用者の獲得に向けた方法など、今後の事業のあり方を検討する必要がある。</li> </ul>			

### (3) 高齢者が円滑に移動できる交通環境の整備

生活支援交通の確保		【交通政策課】			
事業内容	公共交通の利用が不便な地域に住む高齢者などの移動制約者であっても、日々の買い物や通院等が可能となり、安心して住み慣れた地域で生活できるよう、公共交通により移動できる手段の確保及び環境の整備を図る。				
第6期 実施状況	▽H27～29年度				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北野及び城島地域において「よりみちバス」の運行を開始した。(H27年度)</li> <li>・新規地域における導入は、北野及び城島地域の利用状況等を勘案しながら検討している。</li> </ul>				
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	よりみちバス 新規導入地域数	地域	目標値	2	2
			実績値	2	0
			達成度 (%)	100.0	0.0

事業の評価	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の利用が不便な地域において移動手段の確保ができた。</li> <li>・十分な利用とはなっておらず、より地域に根ざした運行となるよう地域と協働し利用促進に努めていく必要がある。</li> </ul>
-------	---	---

### この章の評価

#### (1) 高齢者が安心して暮らせる住居等の整備

単身者向けの市営住宅募集を行うとともに、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームの事業者に対する適切な指導・助言を実施することで、高齢者の安定した住まいの提供ができた。また、市営住宅の建替事業や高齢者住宅改造費の補助により、住宅のバリアフリー化を進めた。一方で、地域優良賃貸住宅については、整備事業者からの応募がなく、制度の見直しが課題となっている。

#### (2) ユニバーサルデザインのまちづくり

誰もが安全で快適に通行できる空間整備を目指して、歩道のバリアフリー化を行うとともに、ユニバーサルデザインの視点を踏まえた公共施設等の整備が進んだ。また、中心市街地への外出や買い物などをサポートするタウンモビリティ事業は、利用者が減少傾向にあり、事業のあり方の検討が課題となっている。なお、ノンステップバスは、交通事業者に対する補助制度を運用しているが、平成27年度、平成28年度には応募がなかった。

#### (3) 高齢者が円滑に移動できる交通環境の整備

公共交通が不便な地域における生活支援交通確保の観点から、北野及び城島地域において「よりみちバス」の運行を開始したが、十分な利用となっていない。より地域に根ざした運行を目指して、地域と協働し利用促進に努めていく必要がある。

## 第8章 介護保険事業の円滑な実施

### 【施策の方向性】

事業の周知・啓発や、事業運営に対する情報公開と相談の充実を図り、地域住民や介護サービス事業者、関係団体と連携し、適正・円滑な事業運営に努める。

### (1) 介護予防・生活支援サービス事業への円滑な移行

介護予防・生活支援サービス事業（訪問型サービス）		【介護保険課】		
事業内容	要支援者等の多様な生活支援のニーズに対して、現行の訪問介護相当のサービスに加え、雇用労働者が行う緩和した基準で行うサービス、住民主体による支援、保健・医療の専門職が短期集中で行う予防サービス、移動支援など、要支援者等に対し、地域の実情に応じた洗濯・清掃等の訪問型による日常生活上の支援を提供する。			
第6期 実施状況	<b>▽H27年度</b> ・H29年4月のサービス開始に向けたサービス内容・人員基準・設備基準の検討を実施した。 ・現行相当・サービスAに関する素案を、関係機関と意見交換しながら作成した。			
	<b>▽H28年度</b> （現行相当・サービスAについて） ・サービス内容・人員基準・設備基準・サービス単価案を作成した。 ・事業者説明会を実施した。 （サービスB・Cについて） ・関係機関との意見交換を踏まえ、サービス内容等を検討した。 ・各サービスについて、市民への周知・広報活動を行った。			
	<b>▽H29年度</b> ・4月から総合事業を開始した。			
	身体援助訪問サービス（現行相当）実施事業所数		75	
元気援助訪問サービス（サービスA）実施事業所数		72		
生活援助訪問サービス実施事業所数		68		
指標 達成状況		H27	H28	H29
	事業進捗目標	・サービスの主体となる団体の活動状況の把握や育成 ・制度設計 ・関係団体への情報提供や市民への周知		介護予防・生活支援サービス事業の開始
	実績	・サービスの主体となる団体の活動状況の把握や育成 ・制度設計 ・関係団体への情報提供や市民への周知		介護予防・生活支援サービス事業の適正な運営
事業の評価	A	・現行相当サービス、サービスA及びサービスCを予定通り開始し、市民へのサービス低下を招くことなく、円滑に新たなサービスに移行することができた。		



<p>事業内容</p>	<p>要支援者等の多様な生活支援のニーズに対して、現行の通所介護相当のサービスに加え、雇用労働者が行う緩和した基準で行うサービス、住民主体による支援、保健・医療の専門職が短期集中で行う予防サービスなど、要支援者等に対し、地域の実情に応じた機能訓練や通いの場等の通所型による日常生活上の支援を提供する。</p>							
<p>第6期 実施状況</p>	<p>▽H27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年4月のサービス開始に向けたサービス内容・人員基準・設備基準の検討を実施した。</li> <li>・現行相当・サービスAに関する素案を、関係機関と意見交換しながら作成した。</li> </ul> <p>▽H28年度</p> <p>（現行相当・サービスAについて）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス内容・人員基準・設備基準・サービス単価案を作成した。</li> <li>・事業者説明会を実施した。</li> </ul> <p>（サービスB・Cについて）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との意見交換を踏まえ、サービス内容等を検討した。</li> <li>・各サービスについて、市民への周知・広報活動を行った。</li> </ul> <p>▽H29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から総合事業を開始した。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="391 1131 1340 1220"> <tr> <td>介護予防通所サービス（現行相当）実施事業所数</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>元気向上通所サービス（サービスA）実施事業所数</td> <td>72</td> </tr> </table>				介護予防通所サービス（現行相当）実施事業所数	83	元気向上通所サービス（サービスA）実施事業所数	72
介護予防通所サービス（現行相当）実施事業所数	83							
元気向上通所サービス（サービスA）実施事業所数	72							
<p>指標 達成状況</p>		<p>H27</p>	<p>H28</p>	<p>H29</p>				
<p>事業進捗目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの主体となる団体の活動状況の把握や育成</li> <li>・制度設計</li> <li>・関係団体への情報提供や市民への周知</li> </ul>			<p>介護予防・生活支援サービス事業の開始</p>				
<p>実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの主体となる団体の活動状況の把握や育成</li> <li>・制度設計</li> <li>・関係団体への情報提供や市民への周知</li> </ul>			<p>介護予防・生活支援サービス事業の適正な運営</p>				
<p>事業の評価</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を予定通り開始し、市民へのサービス低下を招くことなく、円滑に新たなサービスに移行することができた。</li> </ul>						

介護予防・生活支援サービス事業（生活支援サービス）		【地域福祉課】		
事業内容	要支援者等の多様な生活支援のニーズに対して、地域における自立した日常生活の支援のため、要支援者等に対し、栄養改善を目的とした配食や一人暮らし高齢者等への見守り、訪問型サービス・通所型サービスの一体的な提供などを行う。			
第6期実施状況	▽H27～29年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源の把握を進めながら、配食や見守り等に関して、新総合事業としての必要性を検討した。</li> <li>・介護保険法の規定や既存の類似事業との関係性を踏まえ、「訪問型サービス」・「通所型サービス」の実施を優先的に進めることとした。</li> <li>・今後の必要性等を考慮しつつ、引き続き事業実施等の検討を行う。</li> </ul>			
指標達成状況		H27	H28	H29
	事業進捗目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間サービスの状況把握</li> <li>・既存事業の活用検討</li> <li>・市民等への周知</li> </ul>		介護予防・生活支援サービス事業の開始
	実績	事業方針の検討		
事業の評価	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援サービスについて、必要性等を調査した上で、引き続き検討する必要がある。</li> </ul>		

介護予防・生活支援サービス事業（介護予防支援事業（ケアマネジメント））		【介護保険課】		
事業内容	要支援者等の多様な生活支援のニーズに対して、介護予防支援同様、要支援者等に対するアセスメントを行いケアプランの作成によって、心身の状況等に応じて、総合事業によるサービス等が適切に提供できるようケアマネジメントを行う。			
第6期実施状況	▽H27年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年4月のサービス開始に向け、事業の実施体制等について関係機関との協議を実施した。</li> </ul> ▽H28年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との意見交換を踏まえ、制度設計を行った。</li> <li>・事業者説明会を実施した。</li> </ul> ▽H29年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から総合事業を開始した。</li> </ul>			

指標 達成状況		H27	H28	H29
	事業進捗目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施体制の検討</li> <li>・関係団体への情報提供</li> </ul>		介護予防・生活支援サービス事業の開始
	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施体制の検討</li> <li>・制度設計</li> <li>・関係団体への周知</li> </ul>		介護予防・生活支援サービス事業の適正な運営
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を予定通り開始し、市民へのサービス低下を招くことなく、円滑に新たなサービスに移行することができた。</li> </ul>		

## (2) 介護サービスの質の確保

介護支援専門員（ケアマネジャー）・介護サービス従事者研修会 【介護保険課】	
事業内容	<p>①新人ケアマネジャー研修の開催</p> <p>実務経験の浅いケアマネジャーに対して、久留米市の介護保険の状況や介護予防の考え方及び実務に関する研修を行うことにより、市民への良質なケアプランの提供に資する。</p> <p>②集団指導及び新規指定オリエンテーションの実施</p> <p>年1回市内の全事業所に対して行う集団指導及び毎月新規指定事業所に対して実施する新規指定オリエンテーションにおいて、基準や報酬以外にも、計画に沿ったサービスの提供（介護サービスの質の向上）や高齢者虐待・身体拘束廃止等の人権擁護に関する内容について説明や情報提供を行い、管理者やサービス提供の責任者に意識の徹底を図る。</p>

第6期 実施状況	▽H27～29年度				
	・市内の指定居宅介護支援事業所の新人ケアマネジャーを対象に、介護予防の考え方や実務に関する研修を実施した。				
		H27年度	H28年度		
	参加者数	25人	26人		
	※H29年度は未定				
	・市内の介護保険サービス事業所の管理者等を対象として、介護サービスの質の向上や高齢者虐待防止等を中心とする集団指導を実施した。				
	介護保険サービス事業所の管理者対象の研修				
		H27年度	H28年度	H29年度	
	開催回数	全5回	全5回	全5回	
	参加者数	463人	467人	471人	
指定地域密着型サービス事業所の管理者対象の研修					
	H27年度	H28年度	H29年度		
開催回数	全1回	全1回	全1回		
参加者数	125人	138人	138人		
・新規指定オリエンテーション					
	H27	H28	H29		
実施件数	44	40	14		
※H29年度は6月末時点					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	研修会等参加者数	人	目標値	584	584
			実績値	657	671
			達成度(%)	112.5	114.9
事業の評価	A	・関係機関と連携しながら、効果的な研修・指導を実施し、良質なケアプラン及びサービスの提供に寄与できた。			

介護相談員による施設等入所者支援		【介護保険課】
事業内容	市内の介護保険施設を介護相談員が2人1組で訪問し、利用者や家族の介護に関する相談に応じ、助言や施設側との意見交換等により、サービスの質の向上に努める。	

第6期 実施状況	▽H27～29年度				
	・介護相談員を介護保険施設へ派遣し、利用者やその家族の介護に関する相談に対応している。				
			H27年度	H28年度	H29年度
	相談員数		10人	10人	10人
	派遣先施設数		74施設	71施設	71施設
	介護老人福祉施設		8施設	8施設	8施設
	老人保健施設		6施設	6施設	6施設
	療養型医療施設		4施設	3施設	3施設
	地域密着型特別養護老人ホーム		10施設	10施設	10施設
	グループホーム		28施設	28施設	28施設
小規模多機能型居宅介護		18施設	16施設	16施設	
※H29年度は6月末時点					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	派遣対象事業所数	事業所	目標値	75	75
			実績値	74	74
			達成度 (%)	98.7	98.7
事業の評価	B	・概ね目標どおり訪問し、施設における介護サービスの質向上に寄与できた。			

実地指導等による質の確保					【介護保険課】
事業内容	実地指導の実施により、介護サービス事業の適正運営やリスクマネジメントの考え方、個人情報の取扱等のコンプライアンス（法令遵守）についての意識啓発を促す。また、監査事案が発覚した際には、速やかに監査を実施し、悪質な事例には処分を行うことにより、介護サービスの質の確保に努める。				
第6期 実施状況	▽H27～28年度				
	・介護サービス事業の適正な運営やリスクマネジメントの考え方等についての意識啓発を促すための実地指導を実施している。				
			H27年度	H28年度	
	実地指導実施件数		49件	100件	
	監査実施件数		4件	1件	
うち改善勧告		3件	1件		
▽H29年度					
・年間の実地指導実施件数を100件とし、計画的に実地指導を実施する。					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
			達成度 (%)	—	—

事業の評価	B	・介護サービス事業者に対し効率的に指導を実施し、介護サービスの質の確保に寄与できた。
-------	---	--

介護人材の安定確保支援事業		【介護保険課】			
事業内容	介護人材の確保対策は国においても喫緊の課題とされており、新たな財政支援制度の対象事業として位置付けられている。このような国の事業を活用しながら、介護人材の安定確保の支援に取り組む。				
第6期実施状況	▽H28年度 ・関係機関との共催により、高校生と介護職員の交流会を開催した。 (市内の高校12校へ案内・参加17人) ▽H29年度 ・関係機関との共催により、高校生と介護職員の交流会を開催する。 (市内の高校12校、市外の高校5校、専門学校3校へ案内)				
指標達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	-	-	目標値	-	-
			実績値	-	-
			達成度(%)	-	-
事業の評価	B	・交流会の実施により、介護のイメージアップや将来的な介護人材の確保につなげることができた。			

介護人材の育成・定着支援事業		【介護保険課】			
事業内容	介護人材の育成と定着率向上を図るため、キャリアに応じた職員研修や情報交換会等への支援を行う。				
第6期実施状況	▽H27～29年度 ・関係機関への研修支援や意見交換会等を開催している。 ・認知症高齢者に対する介護ケアの質向上を目的とした研修を実施している。				
指標達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	-	-	目標値	-	-
			実績値	-	-
			達成度(%)	-	-
事業の評価	B	・多くの介護事業所職員の参加があり、職員の資質向上及び職場への定着につなげることができた。			

(3) 給付の適正化への取り組み

ケアプランのチェック		【介護保険課】			
事業内容	サービス利用者一人ひとりの心身状況・家庭状況に応じた適正なケアプラン作成のため、ケアプランチェックを通して、介護支援専門員等が自立支援や介護保険制度への理解を深めるよう指導することにより、給付の適正化を目指す。				
第6期 実施状況	▽H27～29年度 ・居宅介護支援事業所が作成するケアプランと、小規模多機能型居宅介護事業所が作成する小規模多機能型居宅介護計画等の点検、検証を行った。				
		H27年度		H28年度	
	点検対象事業所数	24事業所/72プラン		24事業所/72プラン	
	居宅介護支援事業所	16事業所/48プラン		18事業所/54プラン	
	小規模多機能型 居宅介護事業所	4事業所/12プラン		4事業所/12プラン	
看護小規模多機能型 居宅介護事業所	4事業所/12プラン		2事業所/6プラン		
※H29年度は計24事業所72プランを対象に実施予定					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	ケアプランチェック 対象事業所数	事業所	目標値	24	24
			実績値	24	24
達成度(%)			100.0	100.0	
事業の評価	A	・各介護サービス事業所の介護支援専門員に対し、適切な助言・指導を行うことで、質の高いケアプラン作成に資することができた。			

介護レセプトのチェック		【介護保険課】			
事業内容	国民健康保険団体連合会の審査支払等のシステムにより給付の整合性について確認するために情報提供がなされたものについて、事業所への確認を行い、算定誤りが確認された場合は、過誤処理を行うことにより、給付の適正化を図る。				
第6期 実施状況	▽H27～28年度 ・福岡県国民健康保険団体連合会へ委託し、実施している。				
		H27年度		H28年度	
	点検件数	77件		88件	
効果額	541千円		747千円		
指標	指標の内容	単位		H27	H28

達成状況	介護レセプトの チェック	回	目標値	12	12
			実績値	12	12
			達成度 (%)	100.0	100.0
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>算定誤りに対する過誤処理を適切に行うことで、介護給付の適正化を図ることができた。</li> </ul>			

住宅改修及び福祉用具の点検		【介護保険課】			
事業内容	住宅改修の実施又は福祉用具の利用に際し、受給者の実態確認や訪問点検等を通じて、受給者の状態にそぐわない不適切・不要な住宅改修、福祉用具を排除するとともに、受給者の身体の状態に応じた住宅改修、福祉用具を推進する。				
第6期 実施状況	▽H27～29年度				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅改修の実施又は福祉用具の利用について、受給者の身体の状態に応じた対応を推進するための実態確認や訪問点検を行っている。</li> </ul>				
		H27年度	H28年度	H29年度	
	住宅改修	4件	9件	3件	
	福祉用具	0件	1件	0件	
※H29年度は7月末時点					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	住宅改修・ 福祉用具の点検	件	目標値	48	48
			実績値	4	10
達成度 (%)			8.3	20.8	
事業の評価	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問点検を実施する体制の確保が十分でなく、目標とする点検件数に達することができなかった。</li> <li>申請書類等の精査やケアマネジャー及び関連業者への研修・説明会の実施により、点検業務の補完に努めている。</li> </ul>			



#### (4) 適正な要介護認定の実施

関係機関との連携強化のための研修会等の実施			【介護保険課】		
事業内容	<p>要介護認定の資料である認定調査票及び主治医意見書について、関係機関との情報交換等を行うことにより、正確で迅速な資料の作成を促し、適正な要介護認定の実施を図る。</p> <p>①認定調査員等合同研修 介護認定に係る認定調査員や地域包括支援センター等の関係機関・関係者合同の研修を実施するとともに情報交換の場を設ける。</p> <p>②主治医意見書作成に係る説明会 主治医意見書は、二次判定*の重要な資料であることから、的確な意見書が作成されるよう、その意義を含めて主治医からの情報の重要性について、関係団体と連携して説明会を実施するなどして周知を図る。</p>				
第6期実施状況	<p>▽H27～29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「認定調査員等合同研修会」を実施している。</li> <li>・「主治医意見書作成にかかる説明会」を実施している。</li> </ul>				
指標達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	合同研修会参加者数	人	目標値	40	50
			実績値	40	33
達成度 (%)			100.0	66.0	
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な機関の職員に対し研修・指導を行い、適正な要介護認定の実施につなげた。</li> </ul>			

正確な認定調査（訪問調査）の実施			【介護保険課】		
事業内容	<p>認定調査（訪問調査）については、調査に従事する職員の研修及び事例検討会を引き続き実施し、より一層の調査の平準化を図る。また、新規申請時の調査の充実に取り組む。</p>				
第6期実施状況	<p>▽H27～29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査員を対象に、委託調査の現状や判断に悩む調査項目等について事例をあげ、意見交換を実施している。</li> </ul>				
指標達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
達成度 (%)			—	—	
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査員との意見交換により調査における判断基準を平準化でき、適切な認定調査の実施につなげることができた。</li> </ul>			

介護認定審査会の円滑な運営		【介護保険課】			
事業内容	認定審査会は、公平・公正性の確保が求められる機関であることから、審査会委員の研修等を行い、委員間の審査判定基準の平準化を図り、適正かつ円滑な認定審査会の運営に努める。				
第6期 実施状況	▽H27～29年度 ・審査会委員の公平性・公正性確保を目的として、研修への参加を行った。				
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
			達成度 (%)	—	—
事業の評価	B	・研修会情報の提供などにより審査員の能力向上を図り、適正な審査会の運営につなげるよう努めた。			

#### (5) 介護保険制度の周知・啓発と相談体制の充実

介護保険制度の周知・啓発		【介護保険課】			
事業内容	<p>認定の仕組みやサービスの利用方法、保険料等の介護保険制度について、市民により分かりやすく伝わるよう、広報誌や各種パンフレットの内容、出前講座や認定調査等の活用など、情報提供の方法や機会について随時検討を重ねていく。併せて、地域の高齢者と関わる機会が多い関係者(地域包括支援センター職員やケアマネジャー、民生委員等)に対する研修や説明会を通じて、制度改正や介護保険事業の運営状況等に関する情報提供を行い、高齢者や家族に新しい情報が伝わるように努める。</p> <p>特に情報不足になりがちな一人暮らし高齢者等に対しては、ケアマネジャー、地域包括支援センター、認定調査員等が連携し、心身の状況に応じて必要な情報の提供に努める。</p>				
第6期 実施状況	<p>▽H27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度改正に関するリーフレット(全戸配布)</li> <li>・高齢者支援パンフレットの作成</li> <li>・出前講座の実施(開催:17回、参加:379人)</li> </ul> <p>▽H28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護、医療従事者向け総合事業説明会の実施(開催:15回、参加:約2,100人)</li> <li>・総合事業周知用パンフレットの作成</li> <li>・市民公開シンポジウム、広報くるめ、くーみんテレビでの周知</li> <li>・高齢者支援パンフレットの作成</li> <li>・出前講座の実施(開催:11回 参加:231人)</li> </ul> <p>▽H29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援パンフレットの作成</li> <li>・福祉用具、住宅改修パンフレットの作成</li> <li>・出前講座の実施</li> </ul>				

指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
			達成度 (%)	—	—
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年4月より開始した介護予防・日常生活支援総合事業については、事業者向けの説明会を中心として様々な媒体を用いた広報を積極的に展開し、円滑な事業移行につなげることができた。</li> <li>・高齢者支援パンフレットについては、毎年度、内容を充実させており、高齢者施策及び介護保険サービスの周知に大きな役割を果たしている。</li> </ul>			

市民からの相談受付体制の拡充				【介護保険課】	
事業内容	市の相談窓口や地域包括支援センターにおいて適切な相談・支援を行うほか、同センターの相談機会・窓口の拡充を進めていく。				
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度改正や窓口対応等について、課内での研修を行い、適切な対応ができる体制を整えた。</li> <li>・高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターをH27～28年度で2か所増設した（H29年度に新たに2か所増設される予定）。</li> </ul>				
指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
			達成度 (%)	—	—
事業の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任者向け研修（支所・市民センター含む）や制度改正内容に関する課内研修などの実施により、適切な窓口対応ができる体制を整えた。</li> <li>・地域包括支援センターの増設により、相談体制が拡充され、より身近で機動的な対応が可能となった。</li> </ul>			

苦情対応体制の充実				【介護保険課】	
事業内容	<p>保険者として、また、市民にもっとも身近な窓口として介護サービス利用者等からの苦情に迅速・丁寧に対応する。</p> <p>さらに、寄せられた苦情等の内容を分析し、介護保険事業の充実に反映させていく。</p>				
第6期 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情に対し、必要に応じて関係部局と連携を図りながら、迅速な対応を行った。</li> <li>・苦情の内容についての記録を残し、対応状況を管理することで、今後の対応の参考とした。</li> <li>・国保連合会主催の苦情対応研修に参加した。</li> </ul>				

指標 達成状況	指標の内容	単位		H27	H28
	—	—	目標値	—	—
			実績値	—	—
			達成度 (%)	—	—
事業の評価	A	<p>・市民の方からの苦情及び事業者からの情報提供等について、内容や対応状況を記録し、データベース化することで、情報共有や分析が可能となり、苦情対応体制の構築につなげることができた。</p>			

## この章の評価

### (1) 介護予防・生活支援サービス事業への円滑な移行

介護予防・生活支援サービス事業を予定通り開始し、サービスの低下を招くことなく、概ね円滑に事業を移行している。事業開始間もないことから、今後とも制度の周知を図るとともに、事業者との意見交換等を通じて、事業の評価・検証を行っていく必要がある。

### (2) 介護サービスの質の確保

介護従事者への研修や、介護相談員の派遣、実地指導等の実施により、介護サービスの質の確保・向上に努めるとともに、将来的な介護人材の確保、介護人材の育成・定着支援を推進する事業を行った。今後、特に課題となっている介護人材確保の支援策について取り組みを充実させる必要がある。

### (3) 給付の適正化への取り組み

ケアプランの点検や介護レセプトのチェック等により、ケアマネジメント及び介護報酬請求の適正化に努めた。住宅改修及び福祉用具の点検については、申請書類の精査など給付の適正化に努めたが、訪問点検の実施体制の確保が十分でなかった。

### (4) 適正な要介護認定の実施

認定調査に従事する職員に対する研修・事例検討会の実施により、認定調査における判定基準の平準化を図るとともに、関係機関との意見交換等を行い、適正な要介護認定の実施を図った。申請から結果通知までにかかる期間の短縮については、今後、取り組みを行う必要がある。

### (5) 介護保険制度の周知・啓発と相談体制の充実

新事業や制度改正の内容を中心に、様々な機会・媒体を活用した広報によって、高齢者やその家族への適切な情報提供を行った。今後も制度は複雑化していくことが予想されるため、情報提供の方法や機会について随時検討を重ねていく必要がある。

## 第9章 介護サービスの見込量と保険料

### 【施策の方向性】

これまでの実績を基礎として、在宅や施設サービス種別ごとの利用状況や利用者数の伸び等の分析により、第6期計画期間の利用料及び給付費を推計し、それぞれの被保険者の負担能力に応じた保険料を設定する。

- (1) 介護サービス基盤の整備方針
- (2) 介護サービス等の見込量の推計
- (3) 第6期計画における第1号被保険者保険料
- (4) 低所得者への配慮

#### (1) 介護サービス基盤の整備方針

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）における待機者の状況等に鑑み、本市においてはこれまで計画的に介護老人福祉施設の整備を進めてきており、第6期計画期間において、平成28年度に地域密着型介護老人福祉施設145床（29床×5施設）の整備を行った。

また、認知症高齢者の増加が見込まれる中、地域における認知症ケアの拠点としての役割が期待されている認知症対応型共同生活介護（グループホーム）についても平成28年度に54床（18床×3施設）の整備を行った。

### 【介護サービス基盤の整備状況】

#### ・老人福祉施設等整備事業（高齢者福祉施設整備促進事業）

整備施設		定員(床数)
地域密着型 介護老人福祉施設	5期末	305
	H29.10現在	450
	6期末	450

#### ・認知症高齢者グループホーム整備事業（高齢者福祉施設整備促進事業）

整備施設		定員(床数)
認知症対応型共同 生活介護	5期末	810
	H29.10現在	864
	6期末	864

## (2) 介護保険サービス等の見込量の推計

第6期計画期間中の介護保険サービス量に係る次の項目の推計と実績を比較した結果は以下のとおりである。

### 【推計と実績の比較】

#### ○ 人口（推計値:H29.10.1時点、実績値:H29.9.1時点）

- 総人口、65歳以上人口ともに推計を上回る数字で推移している。
  - 40歳以上65歳未満人口については、実績が推計を下回っている。
- ⇒社会的要因により、高齢化率は推計を上回っている。

#### ○ 要支援・要介護認定者数（推計値:H29.9月末時点、実績値:H29.6月末時点）

- 要支援認定者数については、実績が推計を11.9%程度下回っている。
  - 要介護認定者数については、実績が推計を5.4%程度下回っている。
- ⇒認定者数全体では、実績が推計を7.2%程度下回っており、認定率はやや低下している。

#### ○ 施設・居住系サービス利用者数（H29.4～6平均値比）

- 施設・居住系サービス利用者数は実績が推計を5.7%程度下回っている。

#### ○ 標準的居宅サービス等受給者数（H29.4～6平均値比）

- 訪問看護の利用者数は実績が推計を15.7%上回っている。
- 通所介護の利用者数は実績が推計を38.2%上回っている。
- 小規模多機能型居宅介護の利用者数は実績が推計を14.2%下回っている。
- 地域密着型通所介護の利用者数は実績が推計を61.1%下回っている。

⇒サービスごとに差があるものの、全体的に推計をやや下回っている。

※通所介護については、制度改正に伴い利用定員19人未満の事業所は地域密着型へ移行することとされたが、定員を増やす等により、推計より移行が進まなかったと見られる。

### ○ 標準給付費と地域支援事業費の合計額（平成 28 年度）

- 実績が推計を 6.2%程度下回っている。
- 標準給付費の伸び（H27-H28 比）は 1.9%程度
- 地域支援事業費の伸び（H27-H28 比）は 2.1%程度

### （3） 第 6 期計画における第 1 号被保険者保険料

第 6 期計画期間中の総給付費見込額のうち 22%を第 1 号被保険者の保険料により負担することとなっており、介護給付費準備基金の活用及び所得段階の見直し等により、第 6 期の第 1 号被保険者保険料基準額（月額）は 5,651 円に設定している。

平成 12 年度の制度開始以降、保険料引上げの影響が大きかった平成 15 年及びその翌年度を除き、第 1 号被保険者保険料の収納率は 98%台で堅調に推移しており、平成 28 年度の収納率は 98.58%であり、これまでで最高となっている。

### （4） 低所得者への配慮

恒常的に生活困難な被保険者に対して、第 6 期計画期間においても引き続き介護保険料の独自減免や介護サービスの利用者負担の軽減、介護保険サービスの利用者負担に対する助成を実施するとともに、制度の周知を図り、利用者の拡充に努めた。

また、平成 27 年度からは法律の規定に基づき、これまでの給付費の 5 割の公費負担に加えて新たに別枠で公費（国負担 50%、県負担 25%、市負担 25%）を投入し、低所得高齢者の保険料の軽減を行った。

#### 【低所得者の保険料軽減実施状況(平成 28 年度)】

所得段階	軽減前保険料 (年額)	軽減後保険料 (年額)	軽減対象者数	軽減額合計
第 1 段階	33,906 円	30,515 円	14,963 人	50,739,533 円